

な立小松 小松 小松 小松 ら! 光より速, おらばなお ならばなお 景色

海 永遠の時を打つ若き 希望も無限なり据け七色の 調和の虹を描け七色の 調和の虹をがぬきなおまりますがある。 水気がぬき 意志で

見よ 白山の頂を 常での時を 愉しく修め 学びの時を 愉しく修め 世界は広し ならばなお 世界は広し ならばなお ひ立小松 小松大学

速 千住なかに わ校 れ歌 6

明礼

作 作 詩

公

0



学部■

05

07

基本理念 / 教育理念 09

教育の流れ / 共通教育科目

プロローグ

理事長·学長 挨拶

大学設立の趣旨

副学長等 / 校歌

生産システム科学部 生産システム科学科 13

> 保健医療学部 看護学科 17

保健医療学部 臨床工学科 21

25 国際文化交流学部 国際文化交流学科

> 学部入試情報 29

大学院■

サステイナブルシステム科学研究科

基本理念 / 教育理念 31

生産システム科学専攻

ヘルスケアシステム科学専攻

グローカル文化学専攻 37

大学院入試情報

キャンパスライフ

教員の研究内容 41

> 国際交流 43

課外活動

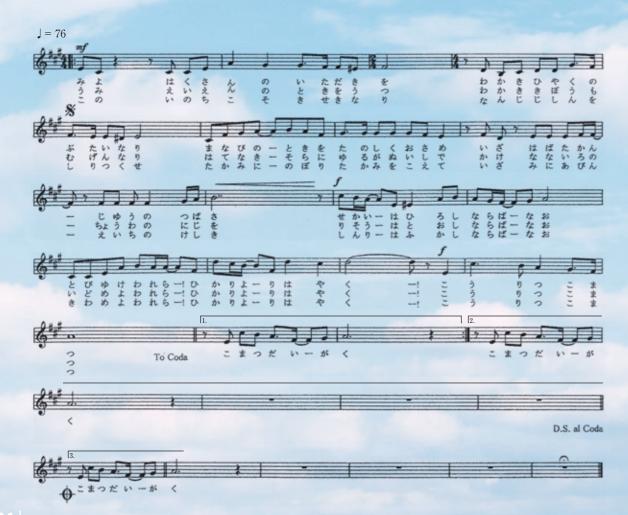
就職支援 / 学生支援

学納金·奨学金/学生寮

キャンパスガイド

キャンパス概要 48

小松市紹介/キャンパスマップ



少子高齢化、グローバル化、技術革新など 私たちを取り巻く社会や環境はめまぐるしく変化しています。

公立小松大学は、そのような急速に変化する

社会のニーズに的確に応えていくため、2018年4月に開学しました。

小松短期大学とこまつ看護学校にゆかりをもつ

「生産システム科学部 生産システム科学科」、

「保健医療学部 看護学科·臨床工学科」、

「国際文化交流学部 国際文化交流学科」の3学部4学科からなります。

本学では、4年間の教育課程の中で、高度な専門知識・能力だけでなく、

変化に富む現代社会において活躍するための基盤となる豊かな教養と

多角的な視野で物事を捉える力を身につけます。

さらに、2022年4月に、地域・国際社会の持続可能性と その実現につながるシステム構築を担いうる人材育成を目指し、 「生産システム科学専攻」、

「ヘルスケアシステム科学専攻」、

「グローカル文化学専攻」の3専攻からなる

大学院サステイナブルシステム科学研究科を開設しました。

本学ではこれからも、

地域の企業・自治体や人々と連携する教育を展開し、

様々な人々との出会いや交流を通して、

豊かな人間性と

人と関わりながら仕事を進める能力を育み、

地域(Local)と世界(Global)の将来を見据え活躍できる

グローカル(Glocal)人材を育成します。



学びを通し、内なる宝を磨き、自らと社会の未来を拓く

公立小松大学の大学案内をご覧いただき、ありがとうございます。どうか、ゆっくりお目通 しください。

公立小松大学は平成30年の開学以来6年を閲して、この3月に第1期中期計画期間を終了し、4月から新たな段階に入りました。本学は、開学から程ならずしてコロナ禍に遭遇し、また、能登半島地震などの災害に見舞われましたが、厳しい環境条件の下で、足許を踏み固めながら雪道を進むような歩みを続けて参りました。そんな中、私は、父から習った「傾心日日新(傾心、日日新たなり)」の言葉を噛み締め、毎日、気持ちを新たにして一日一日を積み重ねてきました。お蔭様で、毎年希望に溢れる新入生を迎え、学生のみなさんのたゆまぬ研鑽と教職員挙げての懸命な努力によって多彩な教育研究活動が展開され、1期2期3期の卒業生が元気に世に出て行きました。また、大学院としてサステイナブルシステム科学研究科を設置し、この3月に第1期の修士課程修了生を送り出しました。そして、4月、博士課程を創設しました。

本学が、ここまで進んでこられたのは、小松市民、近隣市町の方々、石川県民をはじめと する多くの関係の皆様の温かい御支援の賜物であり、ただただ御礼申し上げます。それとと もに、これから、さらなる発展を心掛け、世に貢献する教育研究機関として、皆様の温かい お気持ちにお応えしたいと存じております。

この3月16日、北陸新幹線が延伸され、新幹線小松駅が開業して、本学中央キャンパスは文字通り、新幹線から直通するキャンパスとなりました。本学は、このような交通の便の良さを十分享受し、そのメリットを活用しながら、それに安住することなく、さらに充実した教育研究活動を展開しようと覚悟を新たにしております。今後とも、どうかよろしくお願い申し上げます。

理事長

石田 寛人

略歴

昭和 16年 東京都生まれ(小松市出身)

昭和 39年 東京大学工学部原子力工学科卒業

昭和39年 科学技術庁入庁

昭和 43年 米国イリノイ大学大学院留学

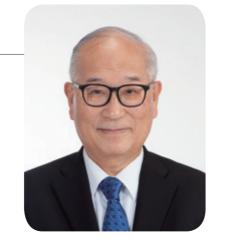
平成 3年 科学技術庁原子力局長

平成 7年 科学技術事務次官

平成 11年 駐チェコ共和国特命全権大使 平成 16年 金沢学院大学学長、金沢学院短期大学学長

平成 23年 公益財団法人 本田財団理事長 (在任中)

平成 26年 公益財団法人 前田育徳会理事長(在任中) 平成 30年 公立大学法人 公立小松大学理事長



オープンチーム・サイエンスの時代の大学と学び

'Do you believe in the human heart? I'm speaking in the poetic sense. Something that makes each of us special and individual'

これは、ノーベル文学賞作家Kazuo Ishiguroの近作 KLARA AND THE SUN (Faber & Faber Limited, 2021) で、人間が主人公のKlaraに尋ねる質問です。彼女の応えは、'Yes, certainly.' 人の心がわかるAIとしてKlaraは描かれます。もう一人の主人公は The sun。太陽です。Klaraは太陽から栄養を得ますが、Klaraの心からの希いと献身により、太陽はKlaraの友だちJosieの病いを治します。この作品には、ですから、人工と自然があり、また、西洋が舞台の英文小説ですが、行間には東洋的なものも漂います。日本人読者にとっては、The sunを「お天道さま」と訳したくなる部分さえあります。

このあいさつ文を カズオ・イシグロ ではじめましたのは、大学では何らかの専門を軸としつつも、理・文系を問わず、さまざまことに関心をもって学んでほしいと考えるからです。地域や世界が抱える諸課題を解決するには、社会経済的な利害や立場、価値観のちがいを超え、多様な専門知と多角的なアプローチを結集させた協働が求められます。オープンチーム・サイエンスとは、大学が市民とともに参加する、このような取り組みを指します。

公立小松大学は、理系、文系、医系の3つの学部・専攻を擁し、学士課程でも大学院でも 分野の垣根を超えた連携、交流を行って多様な専門知を備えた人材を養成するとともに、 オープンチーム・サイエンスの拠点として地域・国際社会への貢献を図ります。

前途有為の皆さんのご入学をお待ちいたします。

学 長

山本博

略

昭和 24年 小松市生まれ

昭和 50年 金沢大学医学部卒業

昭和 53年 富山医科薬科大学医学部助手 昭和 60年 東北大学医学部助教授

平成 2年 金沢大学医学部教授

平成 26年 金沢大学理事(国際・附属病院・同窓会担当)

同副学長

平成 30年 公立小松大学長



S

 \checkmark

3

™

ച

 $\overline{}$

大

副学長

理事 副学長(教育担当) 志村 恵



副学長 (研究担当) サステイナブルシステム 科学研究科長



学長補佐

小原 文衛

学長補佐(教育·国際交流担当)



学長補佐 (研究担当) 髙木 祐介

木村 繁男



学部長・学科長・専攻長

生産システム科学部長 生産システム科学専攻長

上田 芳弘



生産システム科学科長 酒井 忍



保健医療学部長 ヘルスケアシステム科学 専攻長

德田 真由美



看護学科長 松井 優子



臨床工学科長 山岡 哲二



国際文化交流学部長 グローカル文化学専攻長

岡村 徹



国際文化交流学科長 杓谷 茂樹



大学校歌「光より速きわれら」

大学校歌は、日本を代表する作詞家なかにし礼さん、作曲家千住明さんのお二人が、大学創設 にかける市民や関係者の熱い思いに共感し、手がけられました。「一瞬一瞬、誰にも負けず、光より 早く前進する気持ちであってほしい」というエールが込められています。(PO1参照)

なかにし礼 作詩

1938 年生まれ。立教大学文学部仏文科卒業。作詞家と して「石狩挽歌」「時には娼婦のように」他多くのヒット曲 を生み「天使の誘惑」「今日でお別れ」「北酒場」で日本 レコード大賞を3回受賞。他にも日本作詩大賞など受賞 歴多数。2000年、小説『長崎ぶらぶら節』で直木賞を 受賞。2020年12月逝去。

千住 明

1960年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学 院を首席で修了。作曲家・編曲家・音楽プロデューサーと してグローバルに活躍。 '97年第20回、'99年第22回、 '04 年第 27 回日本アカデミー賞優秀音楽賞等受賞歴多 数。東京藝術大学特任教授。東京音楽大学特別招聘教授。

理事・監事	氏名		職業	担当分野
理事長	石田	寛人	•	•
副理事長	山本	博	学長	
理事	志村	恵	副学長	教育
理事	千葉	正	事務局長	総務·財務
理事	森	久規		地域連携
理事	西	正次	小松商工会議所会頭	産業界連携
理事	鈴木	康夫	株式会社Bizitsパートナーズ 代表取締役を	t長 NextStage
監事	松本	哲哉	弁護士	
監事	能登	宏和	税理士	

				_
客員教授・特任教授	氏名		職業	担当分野
顧問 アドバイザリー・フェロー	林	勇二郎		
クリエイティブ・フェロー	黒本	和憲	コマツ顧問	
アドバイザリー・フェロー	横本	美津子	コマツ取締役(兼)常務執行役員(人事、教育、サステナビリテ	イ管掌)
客員教授	髙橋	泰	国際医療福祉大学 教授	
客員教授	田嶋	伸博	株式会社 タジマモーター コーポレーション	
客員教授	矢部	彰	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NED サステナブルエネルギーユニット フェロー	O)技術戦略研究センター
客員教授	弓取	修二	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機	構(NEDO)理事
客員教授	加藤	浩晃	デジタルハリウッド大学大学院 特任教授 東京医科歯科大学医学部 臨床教授	
客員教授	Adria	ın Bejan	J.A.Jones Distinguished Professor Department of Mechanical Engineering and Materials Sc	sience, Duke University
客員教授	David	l Bercovici	Frederick William Beinecke Professor of Earth&Planeta	ry Sciences, Yale University
特任教授	桝本	博之	B-Bridge International CEO	国際·地域連携
特任教授	真田	茂		 国際·地域連携
特任教授	川端	信義		生産システム科学
特任教授	井関	尚一		保健医療
特任教授	盛永	審一郎		 大学院
特任准教授	野口	淳	産業技術総合研究所 外来研究員	 大学院
特任准教授	村野	正景	静岡大学学術院情報学領域 准教授	大学院
特任教授	谷内	正立		
特任教授	林			
特任教授	川上	文清		産官学連携
特任教授	村瀬	道雄	株式会社 原子力安全システム研究所 主席研究員	
特任教授	上田	隆司	金沢大学 名誉教授	
特任教授	中山	賢一		
特任教授	岸本	昌子		国際交流·日本語教育
特任教授	村上	洋子		国際交流·日本語教育
特任講師	北村	ピニダ		国際交流·日本語教育



シンボルマークについて

シンボルマークは、山崎直子氏 (宇宙飛行士)の 監修によるものです。

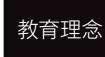
「知性や精神を表す青色」と「安定や無限を表す 黒色」は、本学の目指す「こまつから未来へ」とい う方向を示しています。そして、宇宙の中を廻る青く 輝く地球を連想させるものでもあります。

eg

基本理念

地域と世界で活躍する人間性豊かなグローカル人材を育成する大学 持続的発展に向けて生産システムや人間の健康医療の科学技術を 革新し、異文化交流を推進する大学

地域に対して貢献し、地域によって支えられ、地方を共創する大学



確かな基礎知識と高度な専門能力の修得に向けた主体的な学びと 組織的な教育

人間・社会・自然と科学技術の発展を総合的に捉える先駆的な科学教育 人間性豊かな市民、応用力のある専門職業人、グローカル人材を育成 する地域と協働した教育

入学者受入方針

アドミッション・ポリシー

本学は、基本理念に共感し、 十分な基礎学力とともに、 次のような資質を有する学生を求めます。

学習意欲と探求心を持って自己実現を目指す人

豊かな教養を身につけ、地域社会と人類の発展に 寄与しようと努力する人

社会が抱える問題について主体的に学び、 その解決に取り組む意欲のある人





教育の特色

本学は、国際社会で通用する能力や グローバルな視点・経験を有し、地域の活性化や 持続的発展に貢献できるグローカル人材を 養成するための教育を実施します。

学部学科構成

学部	学科	コース	定員
生産システム科学部	生産システム科学科	生産機械コース	00
工圧ノハノム付子叩	工圧ノハノム付子付	知能機械コース	- 80
保健医療学部	看護学科		50
体链位源于即	臨床工学科		30
国際文化交流学部	国際文化交流学科	国際観光・地域創生コース	00
当际 人 化文派子即	国际文化文派子科	グローバルスタディーズコース	- 80
	合計		240

09 Komatsu University

教育の流れ

共通教育科目は全学部ともに中央キャンパスで学びます。

4年間の学修で共通教育科目、専門基礎科目、専門科目を段階的に履修し、幅広い教養と専門知識を身につけます。



共通教育科目



幅広い教養と基礎的能力、豊かな人間性を培います。

全学部共通で基礎となる知識、能力を確実に身につけるために必要となる幅広い知識、洞察力、思考 力、理解力を養います。これらの能力を獲得するための幅広い分野の科目を「導入科目」、「一般科目」、 「英語科目」、「その他外国語科目」の4つのカテゴリに分類しています。異なる学問分野の学生が同じ空間 で学習し、交流することで、自身の専門分野を取り巻く状況を広く理解し、専門教育に多面的な角度から取 り組むための視野と思考力を育むことを目指します。

導入科目

大学での学修をスタートさせるにあたって必要となる基礎知識やスキル、キャリアデザインを学びます。

アカデミック・スキルズ/キャリアデザイン・チーム論/基礎ゼミ/南加賀の歴史と文化など

大学での学修の基礎となる集団討論・情報収集・整理・文章作成に関する多面的なスキルを修得します。 グループワークによるプレゼンテーションの作成・発表などアクティブラーニングをとり入れています。

一般科目

幅広い教養と豊かな人間性を養成します。

人間の思考や行動、文化について学び、コミュニケーション能力、表現力の養成 を通じて豊かな人間性と国際的な視野を養います。

哲学 / 心理学 / 日本の伝統芸能 / 文化人類学 / 医療と文化 / 文章表現法 / 言葉と文化 など

社会力

政治、経済、法などの社会システムに関する基礎知識を学び、成熟した社会を構 成する一員としての倫理観と社会全体を広く捉える能力を身につけます。

日本産業史 / 自然資源と環境問題 / 経済学 / 政治学 / 社会学 / 公共政策論 / 社会福祉論 など

科 学 力

科学技術の発展による生命、環境、エネルギーの進歩や高度情報化に関して学 び、社会の発展がもたらす恩恵と今後の課題について、未来の社会のためのより良 い選択肢を科学的知見に立って検証・分析を行うことで、課題解決のための合理 的、批判的思考力を養います。

現代科学技術論 / クリティカルシンキング / データ科学と社会 / 情報処理応用 / 統計学 など

諸科学が現代科学技術のなかでどのように役立っているかを理解します。さらにSDGs (Sustainable Development Goals)の中に掲げられた個々の目標と地球環境、地方創生等との関わりについて理解を深めます。

自らの健康に対する理解を深め、生涯を通じてスポーツや健康づくりを楽しむた 健康と体力 〉めの意識を涵養します。また、団体競技を中心に取り組むことで協調性とコミュニ ケーション能力の向上を図ります。

健康と体の科学 / スポーツ演習 (バレーボール、硬式テニス、フットサル、卓球、バドミントン)

英語科目

国際社会のコミュニケーションツールとして多くの場面で必要とされる英語を必修科目として学ぶことで、 実践的運用能力を確実に身につけます。

その他

中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語から選択し、基本的な文法とコミュニ 外国語科目 ケーション能力の修得を目指します。

(専門基礎科目・専門科目に関する詳細は各学科の紹介ページをご覧ください。)

生産システム科学科

粟津キャンパス 80名

Department of Production Systems Engineering and Sciences

学科のサイトはこちら





学科概要と特色

本学科は、機械工学を中心に、電気・電子工学、情報工学の専門知識・能力を幅広く身につけ、地域社会と世界の持続的発展に貢献する人材を育成することを目的としています。現在クラウドなどの情報通信技術を活用したものづくりが進展しており、このような変化に対応するためには、幅広い分野を組み合わせて考えることのできる人材が必要とされています。本学科では、1年次~2年次前期まで数学や物理学、プログラミングなどの工学全般に関連する基礎学力を身につけます。2年次後期から、設計・加工、電気を学ぶ「生産機械コース」と情報や人工知能、センサを学ぶ「知能機械コース」に分かれて、より専門的な能力を身につけます。ただし、コースを越えて幅広く学ぶこともできます。

□生産機械コース

環境に配慮した生産システムを実現するために必要なエネルギーや材料、設計、加工、電気機器に関する知識が総合的に修得できます。さらに 3D CAD やシミュレーションツールを用いた機械の設計技術を修得できます。

□知能機械コース

情報通信技術を活用したものづくりを実現するために必要な情報科学、計算機、人工知能に関する専門知識を総合的に修得できます。また、人工知能モデルの構築に必要なプログラミング技術や情報処理技術を身につけます。

養成する人材像

- ●南加賀地域における知の拠点として、地域 に確固たる軸足を置きながら、現代社会 全体が直面している地球環境と高度情報 化社会などの世界的課題の解決に向け、 機械工学と電気・電子工学、情報工学の分 野の専門知識・能力を広く修得した人材
- ●自然及び社会と共生する生産システムの 構築によりサステイナブル (持続可能な) 社会の実現に資する事ができる人材
- ●地域社会と世界の持続的発展に向けた生産システム構築に関し、広い視野と高度な実践的スキルをあわせもった地域と世界に貢献できる人材



ものづくりに関心がある人

このような方の入学を期待します



機械、電気・電子、情報に関心がある人



自ら進んで学ぶ習慣がある人



仲間と連携して取り組む姿勢がある人



誠実に取り組む姿勢がある人

学外技術体験実習(3年次開講)

生産システム科学科では、3年次に必修科目として「学外技術体験実習」を設けており、インターンシップに相当する経験を積むことができます。特に地域企業が行っているものづくりの製品が生み出される過程を体験することで、実践的な技術者としての能力を高めることができます。



卒業までに定められた 単位を取得し、本学科が 養成する人材像の実現 に必要な知識・技術・能 力を修得した者に、学士 (工学)を授与します。

卒業要件単位数 : 124単位以上

Student's Voice 学生インタビュー

なりたい自分に向かって 専門知識+αを学ぶ。

ものづくりは設計者の手腕で決 まることを知り、機械設計技術者を 目指すようになりました。最新の自 動車にはエンジンやボディだけでな く、自動制御なども必要です。 本学 部では機械工学の知識に加え、電 気・電子工学や情報工学の知識も身 につけることができ、大きなメリッ トだと感じています。また、機械設 計技術者として活躍するには幅広い 知識はもちろん、特に重要となる知 識を深める必要があります。そのた め、将来を見据えて再生可能エネル ギーに関する研究を行ったり、学内 の人工知能研究会に参加したりして 知識を深めています。このような経 験を生かし、機械設計技術者として グローバルに活躍したいです。

山口 真輝 さん

生産システム科学科 4年 生産機械コース

大学院で知識を深め、 ものづくりに携わりたい。

小学生の頃、「お父さんが携わった製品はいろんなところで人の役に立っているんだぞ」と嬉しそうに話す父の様子を見て、生活に身近なものづくりにあこがれるようになりました。公立小松大学に入学した後は、漠然とした思いが具体的になり、生活必需品であり、かつエネルギーコンの開発に興味を持つようになりました。4年間プラス大学院の学びで、熱力学をはじめ、制御、電気、設計などに知識を身につけ、将来のキャリアにつなげたいと思っています。

山本 香里 さん 生産システム科学科 4年 知能機械コース







Curriculum カリキュラムの流れ



4年間の学修の流れ

〈1年次〉

導入科目、一般科目等の共通教育科目を修得します。 さらに専門基礎科目を通じて、数学や物理学、化学、プ ログラミングなどの工学全般に関連する基礎学力を身に つけます。

〈2年次〉

機械をつくる・動かすために必要な基礎学問である4力 「材料力学」、「工業熱力学」、「流れ学」、「振動工学」に 加えて、動力や通信に欠かせない「電気回路」を修得し、 ものづくりに必要な基礎力を身につけます。

〈3年次〉

情報通信技術を活用したものづくりに必要な情報工学 と人工知能を学びます。機械電気系の実験の結果を報 告書にまとめるプロセスを通じて、現象を科学的に分析 する高度な能力を身につけます。

〈4年次〉

4年間の集大成として、卒業研究に取り組みます。最 先端のプラント・エネルギー、材料、加工、設計、電気・ 電子、情報、人工知能、データ科学に取り組む研究チー ムがあります。また地域企業との共同研究を通じた産 学連携プロジェクトも盛んです。これらの活動を通じて、 高度な専門知識と、課題解決力を身につけます。

代表的科目

■ プログラミング (1年次)

C言語による基礎的なプログラミ ングを学びます。

■ 機械の4力 〈2年次〉 「材料力学」「工業熱力学」

「流れ学」「振動工学」

機械を設計、開発する上で不可欠 な力学系の科目で、機械を構成する 部材の強度・変形、熱の移動や流体 の運動、および機械の動的な運動 の制御などについて学びます。

■ 電気回路 (2年次)

電気エネルギーの輸送と制御は、 機械や社会に不可欠なものです。直 流回路、交流回路ならびに過渡現 象の解析方法について学びます。

■ 機械設計製図〈3年次〉

機械の設計、製作に不可欠な機械 図面の描き方、コンピュータを用い た製図 (CAD) を学びます。

〈生産機械コース〉

■ 機械加工学

機器製品は種々の材質と形状か らなる多数の部品から構成されま す。これらの部品を作成するための 加工方法を学びます。

〈知能機械コース〉

■人工知能

人工知能の定義、人工知能によ る処理手続、人工知能の用途と背 景について学びます。

学科の学びが活かせる職種

生産システム科学科で学んだことは、機械技術者・研究者、ロボット開発・設計技術者、自動車 開発・設計者、情報処理技術者・研究者、AIエンジニア、プログラマ、システムエンジニア、組み込 みエンジニア、電子機器技術者・研究者など、多岐にわたる職種で役立てることができます。

製造業 ▶ 加賀東芝エレクトロニクス(株)

小松マテーレ(株)

大京(株)

建設業 ▶ 北陸電気工事(株)

福井鋲螺(株)

(株)ダイフク

YKK AP(株) 情報通信業 ▶ 三谷コンピュータ(株)

(株)テプコシステムズ

卒業後の進路 **円グラフデータは2023年度卒業生の実績です。 **主な就職先・進学先は、2021~2023年度の実績です。

主な就職先着色は大学協力企業

1% 進学 **30**% 1人 23人 就職

69% (株)小松製作所

高松機械工業(株) CKD(株) 三菱電機(株)

澁谷工業(株)

(株)PFU セイコーエプソン(株) 矢崎総業(株)

建設業 6%

就職内定率

100%

製浩業

58%

コマツNTC(株)

(株)ソディック

9%

アイシン・ソフトウェア(株) (株)石川コンピュータ・センター (株)NTTデータNJK (株)ドコモCS北陸 富士通ネットワークソリューション(株)

日本電設工業(株)

小松ウオール工業(株)

コマニー(株)

大同工業(株)

コーセル(株)

立山科学グループ

運輸業 ▶ 西日本旅客鉄道(株) (JR西日本) 日本貨物鉄道(株)(JR貨物) 公務 ▶ 福井県庁

その他 ▶ 小松商工会議所

主な進学先

公立小松大学大学院 北陸先端科学技術大学院大学

北電情報システムサービス(株)

福井大学大学院 公立はこだて未来大学大学院

丸文通商(株)

金沢大学大学院 富山大学大学院 名古屋大学大学院 横浜国立大学大学院

東京電力ホールディングス(株)

全就職先·進学先一賢

卒業生の声

中橋 謙介 さん 2023年3月 生産システム科学科卒

就職先

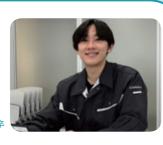
三菱電機株式会社

プラント建設統括部に所属し、主に上下水道の電気設備の 施工計画、施工管理業務に携わっています。大学のキャリアサ ポートセンターの先生に所作や心構えを指導していただき、自 信を持って就活面接に臨んだことを今も覚えています。

生産システム科学科では、機械工学、情報工学を中心にもの づくりに関わる幅広い領域を学び、溶接、旋盤、CNCなど現場 の施工に不可欠な技術への理解も深めました。軽音サークルの 部長として組織づくりやイベントの企画運営に奔走したことも、 今につながる貴重な経験になりました。学生時代の学びや体験 を、社内外の関係者との連携や、新たな視点での業務改善提案 に活かしていきたいと考えています。

卒業生の声

高坂 颯人 さん 2023年3月 生産システム科学科적



株式会社 PFU 就職先

PFUは業務用スキャナーを中心に、ICTに関する製品・サー ビスを世界中に提供している会社です。私自身は開発職とし て、新製品の開発に伴う従来機種との比較や評価を担当して います。

開発のプロセスではソフトウェア、ファームウェア、ハード ウェアの知識の連携が欠かせません。生産システム科学科で はこれらの知識を幅広く学ぶことができました。少人数で協力 して学習を進めるグループワークを通じてコミュニケーション 能力が養われたことも、スムーズに業務を行う上で自分の強み になっていると思います。今後も新しい知識のインプットに努 め、その知識を活かして主体的に業務を遂行できる人材を目指 します。

15 | Komatsu University

看 護 学 科

末広キャンパス 50名

Department of Nursing

学科のサイトはこちら





学科概要と特色

本学科では、「看護師」の国家試験受験資格と合わせて、人々が健康な生活を送れるよう保健活動を行う「保健師」の国家 試験受験資格も選択制で取得することができます。保健師は地域の保健センターや保健所、企業などで活動しますが、病院 や診療所などの医療機関で保健師資格を持った看護師として活躍することもできます。

保健師課程の選択は、25名まで可能で、2年終了時に行います。なお、編入制度は設けていません。

小松市の設置による看護系大学

日本には約300の看護系の大学が存在し、設置主体は、私立が7割と圧倒的に多く、国公立は3割程度です。中でも市 立大学は少数であり、そのほとんどが大都市に設置されています。公立小松大学の設置主体である小松市は商業施設や病 院、交通インフラが整備されたコンパクト・シティで学生が学びやすい環境です。コンパクト・シティの特性を生かし、地域 の皆さんと協働というコンセプトの下で学生を育てています。また、末広キャンパスは実習施設となる小松市民病院や小 松市保健所 (すこやかセンター) と同じ敷地にあり、小松市の医療の中核に位置しています。

定員50名

看護系の大学定員は40名~200名と幅広く、9割以上 の大学が50名より多い募集人員としています。本学科の 定員はわずか50名であり、看護学科専門課程の授業は教 員を身近に感じ学修するとともに、実習においても教員の 指導が行き届く環境にあります。本学科は、学生一人ひと りを大切にした丁寧な教育をしています。

将来のパートナーと共に〈臨床工学科との連携〉

1年次の医学系の授業などは、臨床工学科の学生と共 に同じ教育を実施します。4年次には、両学科の学生が 協働し、看護学と臨床工学それぞれの視点から、看護、そ して医療の未来を考え、創出する学修を行います。看護 師と臨床工学技士は将来の強力なチームメンバーです。



養成する人材像

次のような看護専門職業人を養成する。

- ●すでに生じている、または生じる可能性 のある健康問題を抱える対象の状況を観 察、分析し、その人にとって望ましい看護 ケアを考えることができる
- ●看護師として求められる知識、能力ととも に、病を抱える人や老いを生きる人の心身 の痛みに共感できる感性と、人としての豊 かさを併せもつ
- ●幅広い領域で求められる看護ケアを的確 かつ柔軟に提供できる





看護を学ぶ基礎学力を持った人



人々の営みや健康に関心がある人



保健医療福祉の発展に貢献する人



思いやりをもって人と接する人



様々な人々と協力できる人



4年生が学科の魅力を語るPR動画公開中



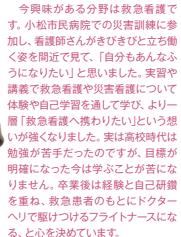
卒業までに定められた単位を取得し、本学 科が養成する人材像の実現に必要な知識・ 技術・能力を修得した者に、学士 (看護学) を 授与します。

卒業要件単位数 : 看護師 126単位以上 (2025年度改正予定) 看護師・保健師 144単位以上

Student's Voice 学生インタビュー

Play 🕒

救急看護に力を尽くす 看護師になりたい。



岡崎 翔生 さん 看護学科 4年



人を助ける仕事にあこがれ、看護学 科を志望しました。授業ではディスカッ ションや発表を行うことが多く、専門 知識に加え「意見をまとめる」「分かり やすく伝える」など、多職種が連携す る医療現場に欠かせないスキルが養 われました。3年次は病院·介護施設 在宅などの実習が中心で、学内で学 んだ知識の理解が深まり、自分が成長 していることを実感できました。看護 師の仕事の大変さも改めて認識しまし たが、患者さんと接する中で「ありが とう」と感謝されるなど、それ以上の やりがいがあることも分かりました。







Curriculum カリキュラムの流れ



4年間の学修の流れ

入学後1年間は、他学部・他学 科の学生と共に幅広い教養を身に つけるための共通教育科目を履修 します。あわせて、専門基礎科目 を履修していきます。 専門教育は 6つのステージに分かれ、1年次か ら段階的に履修していきます。

実習について

実習は1年次から始まります。3年次に入ると、年 間を通した実習期間となります。学生はグループに分

かれ、各看護学の実習を順次行っていきます。4年次にはそれまでの看護学の 学びを統合して学修できるようにした看護統合実習があります。また、保健師 養成課程の学生は、公衆衛生看護学に関する実習を引き続き行います。

〈主な実習施設〉小松市民病院をはじめ、小松市・南加賀地域の病院、介護老人 保健施設、社会福祉法人、保育所、訪問看護ステーションなどで行います。

※保健師養成課程の学生は、小松市すこやかセンター、南加賀保健福祉センター、市内の企業、小・中・高等学 校等においても、実習を行います。

人の身体と心を知るステージ (1年次)

基礎医学系の科目を学び、看護の対象となる「人」の身 体と心を知り、看護学を修得するための基礎づくりをしま す。7科目のうち、解剖学、生理学、病理学、感染免疫学、 薬理学の5科目は臨床工学科の学生と共に履修する連携 科目です。

人の健康問題を考えるステージ〈1・2年次〉

臨床医学系の科目を学び、看護の主な対象となる「身体 的・精神的・社会的健康問題を抱える人」について考え、 看護ケアを提供するための基礎的な知識・能力を修得し ます。健康問題の中でも最重要となる生活習慣病、メンタ ルヘルス不調、認知症に関して学ぶことができる科目を設 けています。

看護とは何かを理解するステージ(1.2.3年次)

基礎看護学に関する科目(講義→演習→実習)を学び、 根拠に基づいた看護ケアを実践するための看護基礎能力を 修得し、将来どのような役割が看護師に求められるかを理解 します。また、心のケアを考える精神保健看護学に関する科 目を早い時期に履修し、ヒューマンケアの基本に関する実 践能力を修得します。

看護ケア能力を育てるステージ〈2・3年次〉

先のステージにおいて看護することの全体像を描くこ とができた後は、小児看護学、母性看護学、成人看護学、 老年看護学に関する科目 (講義→演習→実習) を学び、特 定の健康課題を持つ人に対して看護ケアが提供できる実 践能力を修得します。

看護ケア能力を拡げるステージ〈2・3・4年次〉

将来的に看護の実践能力を病院から地域へと、より拡 げる必要があります。そのため、学んできた看護学を統合 する地域・在宅看護論、公衆衛生看護学を学びます。

看護の未来を共創するステージ(4年次)

最後の学びのステージです。学生が主体となって看護 の未来を教員と共に創っていく科目として「卒業研究」な どの必修科目以外に、『看護未来創出』という科目群を設 け、看護学の発展を主導する力を養います。これらの選択 科目の幾つかは臨床工学科との協働科目です。

また、各教員が専門とする看護スキルを獲得する科目 を設け、看護のプロフェッショナルとして、自信をもって巣 立っていくことをめざしています。

取得可能な資格

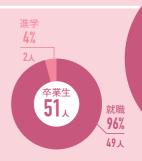
- ●看護師国家試験受験資格
- ●保健師国家試験受験資格(選択制25名)

※保健師国家試験の合格者は申請により 養護教諭二種免許、第一種衛生管理者免許が取得できます。

看護師,保健師 国家試験合格率

2023年度 看護師 100% / 保健師 100% 全国合格率 看護師 87.8% / 保健師 95.7%

卒業後の進路 **円グラフデータは2023年度卒業生の実績です。 **主な就職先・進学先は、2021~2023年度の実績です。



2% 就職内定率 100% 医療 98%

主な就職先着色は大学協力企業

医療 ▶ 小松市民病院 石川県立中央病院 福井県済生会病院 富山赤十字病院 東京大学医学部附属病院

大阪医科薬科大学病院

保健師 ▶ 石川県 富山県 新潟県

製造業 ▶ テルモ(株)

名古屋大学医学部附属病院 関西医科大学附属病院

加賀市医療センター

京都大学医学部附属病院

金沢大学附属病院

福井赤十字病院

小松市

芳珠記念病院 富山大学附属病院

金沢医科大学病院 岐阜大学医学部附属病院 自治医科大学附属病院 慶應義塾大学病院

やわたメディカルセンター 福井大学医学部附属病院 金沢病院 東京医科歯科大学病院 名古屋市立大学病院 順天堂大学医学部附属静岡病院

主な進学先

金沢大学養護教諭特別別科 敦賀市立看護大学助産学専攻科 広島国際大学助産学専攻科

新潟大学養護教諭特別別科 和歌山県立医科大学助産学専攻科

全就職先·進学先一覧



卒業生の声

田中 香帆 さん



2022年3月 看護学科卒

就職先

金沢大学附属病院(看護師)

金沢大学附属病院は、高度な医療を提供する特定機能病院 です。私は整形外科病棟に勤務し、手術後の患者さんの全身状 態の管理や療養環境を整えるケアを行なっています。公立小松 大学で学んだことのすべてが今の仕事に活かされています。そ のうえで、現場経験を通してスキルアップしているところです。 看護技術を磨くことはもちろん、いつも笑顔で前向きに、患者 さんや周りの方に優しくできる看護師でありたいです。後輩の 皆さんに伝えたいのは、授業で学ぶ知識は、将来必ず現場で活 かせるということ。いろんなことを吸収し、悔いのない学生生活 を送ってほしいと思います。

卒業生の声

林田光さん 2022年3月 看護学科卒



小松市役所(公務員:保健師) 就職先

その人がその人らしく地域で暮らしていけるように支える保 健師になりたいと思い、公立小松大学に入学しました。夢を叶 え、現在は生まれ育った小松市の保健師として、医療機関との 連携、特定保健指導などの業務に携わっています。

学生時代の学びは現在の業務に直結する内容が多く、とても 役に立っています。特に保健師の実習に加え、看護の実習を経 験したことで、入院経過や疾患についてイメージできるようにな り、保健師として働くうえで自分の強みとなっています。今後は 食事療法の知識を深め、市民の皆さんが自らの健康と食との関 わりに関心を持てるような保健指導に力を入れていきます。

19 | Komatsu University

臨床工学科

末広キャンパス 30名

Department of Clinical Engineering

学科のサイトはこちら





学科概要と特色

本学科は国公立大学で初めての臨床工学科です。あとに続く国公立大学の先駆けとして、教員と学生が一丸となり、 リーディングスクールの責任とプライドを持って教育・研究を推進します。基本的には、高度化する医療技術に即応して 医療機関における最先端医療と在宅・介護など地域医療に貢献できる人材、さらには臨床工学と医学の未来を切り拓く 人材を養成します。

本学科のミッションは次の3点です。

医療技術が高度化する中、医 学と工学の知識と技術を備え、 高度医療機器の管理・運用を通 じて、安全で安心な医療の実践 に貢献できる臨床工学技士を育 成します。

看護学科の学生と共に、チーム医療は もちろんのこと、地域社会における保健・ 医療・福祉の課題について学びます。1年 次や2年次における共通教育科目、医学 的基礎科目のみならず、4年次にあらた めて総合実践科目を共同履修することに よって、チーム医療の円滑な実践や地域医 療の課題解決に協働して貢献できるよう な人材を育成します。

国際的、学際的に研究を遂行 できる科学的思考力と創造力を 高める教育に力を入れます。医 学と工学の基礎教育で培われた 臨床工学の知識と技術を基にし て、現代社会と医療の課題解決 に貢献し、臨床工学の未来技術 を創出する臨床工学教育・研究 者を目指す人を育成します。

養成する人材像

- ●高度医療機器による安全かつ的確な医療 技術の持続的提供ができる基礎力、応用 力を備え、これらの課題に対応できる臨床 工学技士
- ●生命の尊厳と医療に携わることの職責の 重さと医療人としての人格・教養と、チー ム医療(保健・医療・福祉)や地域医療に おいて他の医療職と連携・協調しながら主 体的に行動できるための態度、科学的思 考、課題解決能力を備えた臨床工学技士



医療技術の発展に興味がある人



社会貢献に意欲がある人

このような方の入学を期待します



コミュニケーション能力がある人



医療に関連する研究・開発に興味がある人



新しいことへの探求心がある人



4年生が学科の魅力を語るPR動画公開中



卒業までに所定の単位を修得し、本学科の 養成する人材像に掲げる能力を修得した者 に、学士(臨床工学)を授与します。

卒業要件単位数 : 132単位以上

Student's Voice 学生インタビュー

技術と心で人に寄りそう 臨床工学技士に。

祖母を亡くした経験から医療に関 わる仕事に就きたいと考え、公立小 松大学に進学しました。少人数制で先 生方の手厚いサポートを受けられる、 看護学科と一緒に学ぶ機会があり医 療への理解が深まるなど、この学科で 学ぶ魅力はいくつもあります。 臨床工 学技士には、人工心肺や人工呼吸器 など医療機器に関する専門知識に加 え、患者さんの不安を和らげるコミュ ニケーション能力も欠かせません。講 義と実習を通じ、理想の臨床工学技 士に近づきたいです。

木工 愛斗 さん 臨床工学科 3年

理解を深める学習で、現場で 活かせる知識を身につける。

臨床工学科は1学年30人という小規 模な学科ながら、全国から学生が集まっ ているため、様々な方言が飛び交ってい ます。私も初めて北陸の地に来たのです が、一人暮らしで不安な気持ちもみんな で共有でき、すぐに仲良くなれました。

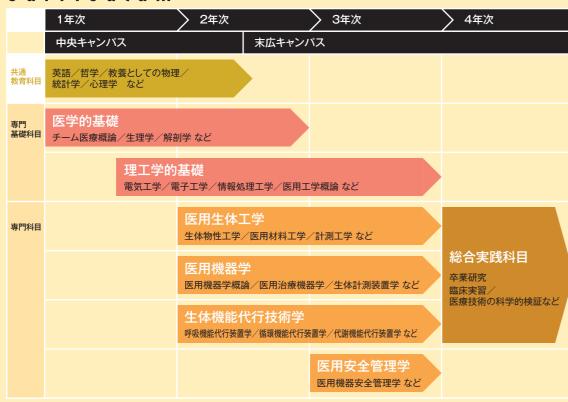
勉強においては、膨大な知識を蓄える 必要がある中で、先生は「丸暗記ではな く理解することが大切」だと教えてくれ ました。科目内容だけでなく、勉強方法 までアドバイスいただけるのは、ありが たいです。これから実習や実験を通して より知識を深め、臨床工学技士としての 自分の適性を見極めていきたいです。

佐藤 眞耶 さん 臨床工学科 4年





Curriculum カリキュラムの流れ



4年間の学修の流れ

より安全で適切な医療技術を持続的に提供するために、社会に対して幅広い視野を持ち、地域における医療・保健・福祉 の活動に貢献できる基本的能力を持つ臨床工学技士を目指し、次のような教育課程で学びます。

〈1年次〉

医療従事者としての 教養を身につけ、医学・ 医療の基礎知識を修得 します。

〈2年次〉

臨床工学に必要な医 学・医療の具体的事項と 全体像を理解し、理工学 の基礎知識と技術を理解 します。

〈3年次〉

生命維持管理装置の基 礎知識と応用技術を修得 し、安全・安心で効果的な 医療の提供と地域社会の 保健・医療・福祉の課題 解決に取り組む能力を修 得します。

〈4年次〉

臨床実習や看護学科と の共通科目の履修を通じ て、チーム医療の一員とし て患者の視点に立った医 療を実践する能力を修得し ます。また、卒業研究など によって課題解決能力や研 究能力を向上させます。

主要科目の概要

■ 医学的基礎科目群

「解剖学」、「生理学」、「生化学」、「病理学」など、人体 の構造と機能や疾患の基礎を身につけ、医学・医療の基 本と全体像を理解します。

■ 理工学的基礎科目群

「電気・電子工学」、「情報処理工学」、「医用機械工学」 など、電気・電子工学の基礎知識と応用力を身につけて、 医用機器の基本と全体像を理解します。

■ 専門科目群

「生体物性工学」、「生体計測装置学」、「呼吸・循環・代 謝機能代行装置学」など、生体現象への医学的、工学的 なアプローチに関する知識、技術を身につけ、生命維持 管理装置の運用など、安全で安心な医療技術の実践につ いて理解します。



取得可能な資格

●臨床工学技士国家試験受験資格

※臨床工学技士は厚生労働大臣の免許を受ける国家資格です。

学科の学びが活かせる 資格 · 検定等

■ ME技術実力検定

臨床工学技士 国家試験合格率

2023年度 89.7% 全国合格率 78.6%

2022年度 100% 全国合格率 85.4%

2021年度 91.2% 全国合格率 80.5%



Department of Clinical Engineering 進学 10%

卒業後の進路 ※円グラフテータは2023年度卒業生の実績です。 ※主な就職先・進学先は、2021~2023年度の実績です。

主な就職先着色は大学協力企業

医療 ▶ 小松市民病院

小松ソフィア病院 福井県済生会病院

京都大学医学部附属病院 東京医科大学八王子医療センター 琉球大学病院 静岡赤十字病院 仙台循環器病センター 岐阜市民病院

会津中央病院 学校教育等 ▶ 国立大学法人富山大学 製造業 ▶ ライオンパワー (株)

主な進学先

公立小松大学大学院 神戸大学大学院

加賀市医療センター 能美市立病院 福井県立病院

熊本大学病院 長崎大学病院 東京女子医科大学病院 市立砺波総合病院 東京都立病院機構 京都市立病院機構 刈谷豊田総合病院

北陸先端科学技術大学院大学

広島市立大学大学院

やわたメディカルセンター 富山県立中央病院 福井大学医学部附属病院

神戸大学医学部附属病院 名古屋大学医学部附属病院 獨協医科大学附属病院 青森県立中央病院 新潟県立病院 藤枝市立総合病院 佐久総合病院

就職内定率 100% 100%

公立松任石川中央病院 富山大学附属病院

滋賀医科大学医学部附属病院 三重大学医学部附属病院 金沢赤十字病院 岐阜県立多治見病院 磐田市立総合病院 相澤病院

全就職先・進学先一

就職 **84**%



卒業生の声

岩折 銀路 さん 2023年3月 臨床工学科卒

就職先

富山県立中央病院(臨床工学技士)

地元にある富山県立中央病院で、人工透析、医療機器管理、 ICU、ペースメーカー、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテ ル治療などの業務に携わっています。高校時代、将来を見据え て医療職を調べる中で、臨床工学技士の存在を知り、魅力を感 じました。臨床工学科では、国家試験に向けて計画的に学びを 進めるとともに、ゼミ活動を通じて試験対策の枠を超えて視野 を広げることができました。研究活動や論文執筆の経験は、現 在の仕事にも役立っています。

臨床工学技士にはさらなる専門資格として、専門領域での認 定制度が用意されています。さまざまな学会に参加して学びを 深め、キャリアアップしていきたいです。

卒業生の声

河上 仁美 さん 2022年3月 臨床工学科卒



富山大学附属病院(臨床工学技士) 就職先

病院実習で訪れた際、臨床工学技士の先輩方の活躍を目の 当たりにしたこと、また授業で循環器領域に興味を持ったこと から、高度な循環器治療を行っている富山大学附属病院への就 職を志望しました。

現在は主に人工心肺や心臓カテーテル検査・治療に関わる医 療機器の操作に携わっています。医師や看護師など他の医療専 門職との連携が欠かせない業務です。学生時代、看護学科と合 同でグループワークを行うなど、さまざまな知見を尊重しつつ、よ り良い結論を導き出すプロセスを経験できたことが今に活きて います。今後も周囲と信頼関係を築くことを大切にし、責任感と 誇りを持って仕事に取り組んでいきます。

23 Komatsu University

国際文化交流学科 中央キャンパス 80名

Department of Intercultural Communication

学科のサイトはこちら





学科概要と特色

本学科は、「国際社会に対する知識と国際感覚を備え、強い人間力と豊かな知性・感性を持って地域社会の振興と我が国 の持続的発展に貢献できる人材を育成する」という理念を掲げています。ここで学べる領域は、大きく分ければ、観光、地域 社会、国際社会、国際文化の4つで、人文社会科学の様々な領域に対応したカリキュラム編成になっています。日本海を介し てアジアに開いている北陸という地に所在する国際系の学科として、社会に出た際の武器となるよう、英語に加えて中国語 の習得を重視し、これを必修としています。

2年次後期に下記の2コースに分かれますが、コースを超えて幅広く学ぶことを推奨しています。深い知識と領域を横断す る創造的な発想力・実践力を備え、地域の発展に貢献し国際社会で活躍できる人材を育成します。

□ 国際観光・地域創生コース

世界を俯瞰した観光学と地域経済の実態に関する知識 を身につけます。また体験型の実習などを通じて企画力 と創造力を身につけます。地域の創生と観光振興のあり 方を広い視野から学ぶことができます。

□ グローバルスタディーズコース

世界各地域の政治、経済、社会および言語文化に関す る知識を身につけます。また、演習や短期留学、異文化 体験実習などを通じて異文化対応能力を身につけます。 社会科学と人文科学のいずれも学べることが特色です。

養成する人材像

国際的な視野から地域社会の持続的 発展に貢献できる人材を養成します。

- ●インバウンド受け入れと多文化共生社会の 実現に寄与する人材
- ●地域を基盤として貿易、国際協力等に尽力 する人材
- ●地域特性を生かした観光資源の開発と海 外発信に貢献する人材
- ●豊かなコミュニケーション能力と外国語運 用能力を持つ人材

このような方の入学を期待します



異文化社会に関心がある人



地域社会に関心がある人



情報分析能力の向上に意欲がある人



外国語スキルの向上に意欲がある人



知的探求心と柔軟な発想を持つ人



卒業までに所定の単位を修得し、本学科の養成する人材像に基づき、学科共通の能力を修得すると ともに、それぞれのコースごとに求められる能力を修得した者に、学士 (国際文化学) を授与します。

卒業要件単位数 : 127単位以上

海外語学研修·異文化体験実習〈2~3年次開講〉

海外の協定校と連携し、春季(2~3月)または夏季(8~9月)に実施します。異なる文化、歴史、社会の中に身を置くことで異 文化を実践的に学ぶことができます。

【海外提携機関】

- 海外語学研修
 - * オークランド大学
 - English Language Academy (ニュージーランド)
 - * 常州大学(中国)
- * 東南大学 外国語学院·海外教育学院 (中国)
- * 建国科技大学(台湾)
- * 湖西大学校 (韓国)
- * ボンド大学(オーストラリア)
- * ウエスタン・ワシントン大学 (アメリカ合衆国)
- * オースティン・ピー州立大学 (アメリカ合衆国)

● 異文化体験実習

- * プリンス・オブ・ソンクラ大学(タイ)
- * トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学(マレーシア)
- 交換留学 (半年以上の留学)
- * 常州大学(中国)
- * 東南大学 外国語学院・海外教育学院 (中国)
- * 建国科技大学(台湾)
- * 国立中央大学 英米語文学科・言語センター(台湾)
- * 湖西大学校(韓国)
- * オースティン・ピー州立大学 (アメリカ合衆国)
- * トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学(マレーシア)

Student's Voice 学生インタビュー

地域で学び、 新たな価値を創造する

私は地域創生について研究してお り、ゼミ活動の一環で、小松駅近くの 歴史ある街道沿いの商店街を紹介す るマップを制作しました。個性豊かな 店主さんの人柄も伝える内容を工夫 し、約2か月で完成させました。商店 街の皆さんに喜んでもらえたことも 嬉しかったですし、地元の方々と交流 し、地域の魅力を深掘りする中で、小 松に誇りが持てるようになりました。 卒業後は視野を広げるため大都市圏 で働きたいとも思っていますが、将来 的には地元石川の活性化に貢献でき ればと思っています。

水橋 直樹 さん

大学で中国語に出会い、 人生が変わった!

英語と旅行が好きで、英語と観光 を学べる小松大学を志望した私です が、入学後に中国語の面白さに目覚 め、中国語をメインに学ぶようになり ました。3年次には中国に留学。異文 化に身を置く中で、互いに違いを受け 入れることで生まれるコミュニケー ションの可能性を実感しました。現在 は中国の経済や貿易、中国とその周 辺国の歴史についても学びを広げて います。在学中に成し遂げたい目標 は、中国語検定HSKの6級と中国語 会話試験であるHSKKの高級に合格 することです。本学で学んだひとつ の証にしたいですね。

小林 美月 さん



国際文化交流学科 4年 国際観光・地域創生コース

国際文化交流学科 4年 グローバルスタディーズコース

Curriculum カリキュラムの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
	中央キャンパス			
共通 教育科目	基礎ゼミ/南加賀の歴史と文化/ 人間の発達と心/文章表現法/ 自然資源と環境問題/人文地理学が	38		
専門基礎科目	専門基礎科目 国際地域研究入門/世界遺産を学ぶ 地域政策概論/異文化コミュニケー			
専門科目		専門外国語科目 English presentation/To 中国語表現法/ビジネス中国		
			选科目 修/異文化体験実習/地域実習/イ	ンターンシップ
		観光産業楔	光・地域創生コース 論/観光の新たな展開/ホスピタリ・ ーション論/地域文化政策論/地域観	ティ論 / ユニバーサルツーリズム論 / 光ビジネス論 など
		国際政治論	バルスタディーズコー 〈国際貿易論/中東政治論/宗教社 化論/語用論/社会言語学/英語圏	t会論/英語圏言語文化論/
				卒業研究

4年間の学修の流れ 積み上げ式のカリキュラムによって、一歩ずつ着実に力をつけます。

〈1年次〉

導入科目、一般科目等の共通教育科目、さらに専門 基礎科目の「国際地域研究入門」を通じて、世界各地の 多様性について考え、幅広い基礎学力を身につけます。 また、英語力を伸ばし、中国語の基礎を学習します。学 生全員に相談教員を配置し、履修およびキャリアデザイ ンの助言をします。(2年次前期まで継続。それ以降は 各コースの教員が助言にあたります。)

〈2年次前期〉

本学科の学生全員にとって必要な基礎的知識と方法論を 教授する専門基礎科目を履修し、学期終了時にコースを選 択します。また英語、中国語のレベルアップを図ります。

〈2年次後期~3年次〉

2年次後期はコースごとの専門科目を履修するととも に、幅広い知識、見識を身につけるために他コースの授 業科目の履修も推奨します。3年次は、教室での講義、 演習のほか、キャンパス外で行われる地域実習やインター ンシップに参加します。海外語学研修、異文化体験実習 は主に2年次終了時の春季休業期間に実施します。

〈4年次〉

4年間の集大成として「卒業研究」に取り組みます。 併せてさらに専門科目を履修して視野を広げ、外国語の レベルアップを図りながら、卒業後の活躍に備えます。

代表的科目と概要

■ 国際地域研究入門〈1年次〉

国際・地域研究を学ぶにあたり、 基礎的な知識と情報を得て、世界各 地の社会や文化の特徴とその背景 を広く理解します。

■ 中国語 I ~ IV (1·2年次)

1年次には、全員が必修科目とし て中国語を学びます。初めは日本語 で講義し、段階的に中国語のみの 授業へと移行します。

■ 観光の新たな展開〈2年次〉

地域の自然環境や文化に配慮し た持続可能な観光のあり方につい て、最先端の動向を学びます。

■ 地域資源と観光 〈3年次〉

観光資源とは何かを理解し、地 域社会と観光との良好な関係をと り結んでいくために必要な知識を 学びます。

■ 国際貿易論〈3年次〉

国際貿易に関する基礎的な知識 と理論を学び、今日の世界及び日本 経済の状況を把握します。

■ イスラーム社会論 (3年次)

イスラームの教義や歴史を学ぶ とともに、現在のイスラーム社会の 多様性について考えます。また、イ スラーム社会と日本との関係につい ても学びます。

■ 日英対照言語表現論〈3年次〉

英語と日本語の仕組みについて 理解を深めるため、様々な表現や 構文を取り上げ、その共通点・相違 点について学びます。

■ 演習A·B〈3年次〉

卒業論文を見据え、一定のテーマ を設けて、資料収集の方法、発表の 訓練などを行います。

■ 地域実習〈3・4年次〉

地域の抱える諸課題について、地 元の団体、自治体、企業の協力を得 ながら、教員と学生が共同で取り組 み、調査能力、課題解決能力、情報 発信能力を身につけます。

学科の学びが活かせる資格・検定等

- ●世界遺産検定
- TOEIC® Listening & Reading Test
- 中国語HSK検定
- 外国語のスピーチコンテスト

▶世界遺産検定 団体優秀賞受賞 (3度日の団体管 受賞)



▶中国語スピーチ コンテスト 石川県大会1位 (2023年度実績)



卒業後の進路 **円グラフデータは2023年度卒業生の実績です。 **主な就職先・進学先は、2021~2023年度の実績です。

主な就職先着色は大学協力企業

公務 ▶ 法務省(国家総合職) 法務省 福井地方法務局 小松市役所

学校教育等 ▶ 公立大学法人 公立小松大学 国立大学法人 金沢大学

製造業 ▶ (株)小松製作所

(株)金沢村田製作所 フクビ化学工業(株)

金融・保険業 ▶ (株)北陸銀行

はくさん信用金庫 情報通信業 ▶ (株)カラフルカンパニー

運輸·郵便業 ▶ 日本航空(株)

卸売·小売業 ▶ (株)横山商会 宿泊・飲料サービス業 ▶ (株)ホテルゆのくに

サービス業・その他 ▶ 積水ハウス(株)

主な進学先 北海道大学大学院 大阪公立大学大学院

厚生労働省(国家-般職) 国税庁 金沢国税局 加賀市役所

小松ウオール工業(株) 加賀東芝エレクトロニクス(株)

三協立山(株) (株)北國銀行

金沢信用金庫 (株)福井新聞社

西日本旅客鉄道(株) AOIホールディングス(株)

ハイアットセントリック金沢 福井商工会議所

神戸大学大学院 埼玉大学大学院 財務省 大阪税関(国家一般職) 名古屋高等裁判所 能美市役所

4%

3人

72_×

航空自衛隊 白山市役所

コマニー(株) 小松マテーレ(株) 大同工業(株) 高桑美術印刷(株)

CKD(株) YKK(株) SBIホールディングス(株) (株)日本政策金融公庫

福井信用金庫

(株)JALスカイ金沢 郵船ロジスティクス北陸(株) (株)アダストリア イオンリテール(株)

ANAクラウンプラザホテル金沢 金沢白鳥路 ホテル山楽

全就職先・進学先一覧



七尾市役所

卒業生の声

肥田 望来 さん

2022年3月 国際文化交流学科卒

就職先

コマツ 粟津工場

学生時代は講義に加え、留学を通じて語学力の向上に力を入 れました。留学先の台湾の大学で、手を上げて自分の意見を伝え ることが当たり前になったとき、語学力と積極性の両面から自分 の成長を感じました。就職活動では、こうしたグローカル人材とし ての力を発揮したいと考え、石川から世界へ進出しているコマツ を志望しました。現在は当社の建設機械の補給部品の在庫管理 を担当しています。海外の現地法人などと外国語で交渉すること もあり、学生時代に身につけた、言語の壁を超えて主体的に意見 を伝える姿勢がとても役立っています。社内外の方から「一緒に 働きたい」と思ってもらえる人に成長していきたいです。

卒業生の声

倉田 冴奈 さん 2022年3月 国際文化交流学科卒



財務省 大阪税関 就職先

学生時代は国際政治を専攻しており、ゼミでの討論を通じて 多角的に物事を見る力が養われました。台湾の大学に留学した ことも貴重な経験になり、英語・中国語の力がアップしたこと に加え、初めてのことに積極的に挑戦する姿勢が身につきまし た。就職については入学時から公務員を希望しており、キャリ アサポートセンターのアドバイスで3年次から外部の対策講座 を受講しました。

関西空港は外国人旅客が多く、語学力が活かされる場面は 多いです。今は手荷物検査などを行う旅具通関部門を総括す る立場ですが、税関には多様な業務があります。知識を増や し、さまざまな分野に挑戦して、自分らしいキャリアを歩んで いきたいです。

令和7年度(2025年度)入学者選抜

入試の詳細や過去問題等の 情報は公立小松大学 ホームページで公表します。



選抜区分と募集人員

[単位:人]

学部	学科		選抜区分と募集人員					
		入学定員	一般	選抜	学	校推薦型選	抜	
_		八子疋貝	前期日程	公立大学 中期日程	一般	市内	県内	社会人選抜
生産システム科学部	生産システム科学科	80	40	20	7	6	7	-
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名 ※
	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	若干名 ※
	計	80	47	13	5	7	8	若干名 ※
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	35	25	7	7	6	-
	合計	240	122	58	19	20	21	若干名 ※

※保健医療学部の社会人選抜の募集人員(若干名)は、各学科の一般選抜の内数とします。

入学者選抜方法

一般選抜

一般選抜は、前期日程と公立大学中期日程で実施します。後期日程は実施しません。大学入学共通テストと個別 試験により、入学志願者の基礎学力を総合的に判定します。

学校推薦型 選抜

次の要件を満たし、調査書の学習成績概評がB段階以上(全体の学習成績の状況3.5以上)あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者を対象に、学校推薦型選抜(一般推薦・地域推薦)を実施します。

一般推薦	推薦要件	高等学校(特別支援学校の高等部を含む。) 又は中等教育学校を令和6年4月 から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
	選抜方法	大学入学共通テストにより一定の基礎学力を確かめるとともに、調査書、推薦書、志願理由書等の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。

地域推薦

次のいずれかに該当する者を対象とします。

※保護者とは、父母又は主たる生計維持者

推薦要件

市内推薦 小松市内に所在する高等学校を

- 令和6年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 □ 高等学校卒業年度の4月1日以前から引き続き本人又は保護者が
 小松市内に住民登録がある者で、小松市外に所在する高等学校を
 令和6年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- 県内推薦 □ 石川県内(小松市を含む。)に所在する高等学校を 令和6年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者

選抜方法

大学入学共通テストを免除し、調査書、推薦書、志願理由書等の出願書類審査、 面接、課題作文により学習意欲や能力を総合的に判定します。

社会人選抜

令和7年3月31日までに満23歳に達しており、社会人としての実務経験(非正規雇用及びNPO、NGOでの活動を含む。)を3年以上有する者を対象に、社会人選抜を実施します。調査書、志願理由書等の出願書類審査、面接、小論文により総合的に判定します。

Web出願

学校推薦型選抜、一般選抜においてWeb出願を実施します。

※詳細は、学生募集要項をご確認ください(学校推薦型選抜は9月頃、一般選抜は10月頃に公立小松大学ホームページで公表します)。 ※社会人選抜では、Web出願を行いません。

令和6年度(2024年度)入試結果

[単位:人]

							L半位·人
学部	学科	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
生産システム科学部	生産システム科学科	前期日程	40	59	42	40	36
T/T/2/2/2-4/1	<u> </u>	中期日程	20	284	80	43	23
		一般推薦	7	12	12	l 8	8
		市内推薦	6	10	10	1 7	7
		県内推薦	7	12	12	1 9	9
		計	80	377	156	107	83
保健医療学部	看護学科	前期日程	30	75	71	40	39
F1-10-131 3 A		中期日程	8	195	58	8	1
		一般推薦	2	5	1 5	1	1
		市内推薦	5	8	8	4	4
		県内推薦	5	14	14	1 5	5
		社会人	若干名	3	3	0	0
		計	50	300	159	58	50
臨床工学科	臨床工学科	前期日程	17	48	43	19	19
		中期日程	5	74	25	1 5	1
		一般推薦	3	34	33	1 6	6
		市内推薦	2	1	1	1	1
		県内推薦	3	5	1 5	4	4
		社会人	若干名	0	0	0	0
		計	30	162	107	35	31
		小計	80	462	266	93	81
国際文化交流学部	国際文化交流学科	前期日程	35	76	68	39	35
		中期日程	25	236	81	41	29
		一般推薦	7	15	15	9	9
		市内推薦	7	9	9	1 7	7
		県内推薦	6	6	6	1 5	5
		計	80	342	179	101	85
合計		前期日程	122	258	224	138	129
		中期日程	58	789	244	97	54
		一般推薦	19	66	65	24	24
		市内推薦	20	28	1 28	19	19
		県内推薦	21	37	37	23	23
		社会人	若干名	3	1 3	0	0
		計	240	1,181	601	301	249

入学年度別 入学者の出身都道府県

北陸三県を中心に全国から入学者があります。

[単位:人]

入学年度

都道府県				
卸 担肘乐	R6	R6 R5		R3
北海道	2	4	1 2	0
青森	0	1	1 0	0
岩手	0	0	1 0	0
宮城	1	1	1 2	1
秋田	1	0	1 0	1
山形	0	2	1 0	1
福島	0	1	1 0	0
茨城	0	0	1 2	1
栃木	0	1	1 0	3
群馬	3	1	1	1
埼玉	0	2	1 0	2
千葉	0	0	1 0	0
東京	0	1	1 0	0
神奈川	0	1	1 0	0
新潟	3	5	3	7
富山	27	14	24	23

	都道府県		/ ()	八丁十尺				
	即坦州朱	R6	R5	R4	R3			
_	石川	152	127	136	134			
	福井	22	33	37	19			
	山梨	1	3	0	0			
	長野	6	5	1 3	6			
	岐阜	9	6	10	10			
	静岡	3	9	3	1 5			
	愛知	3	4	6	5			
	三重	2	4	3	6			
	滋賀	3	0	1	1			
	京都	0	3	1	2			
	大阪	3	2	0	3			
	兵庫	0	3	4	8			
	奈良	0	1	0	0			
	和歌山	1	2	1	0			
	鳥取	0	1	0	0			
	島根	0	1	0	0			

入学年度

R6		R5		R4		R3
1		1		1		2
0		1	Ī	0	I	0
0		0		1	l	1
1		0		0		1
0		1		1		0
0		0		4		1
0		0		0	l	1
0		1		0		1
0		1		0		0
2		0		0		0
0		0		1	l	0
1		0		0		1
0		0		0		0
1		0	Ī	1	ĺ	0
1		1	Ī	0	ĺ	1
249		244	Ī	248	ĺ	248
	1 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 2 0 1 0	1 0 0 1 0 0 0 0 0 0	1 1 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 1 2 0 0 0 1 0 1 0 1 0	1 1 1 0 1 0 1 1 0 1 1	1 1 1 1 0 0 0 1 1 1	1 1 1 1 0 0 0 1 0 0

サステイナブルシステム科学研究科



サステイナブルシステム科学研究科は、今後の地域・国際社会のサステイナビリティ (持続可能性) とその実現につながるシステム構築を担いうる人材育成を共通の目標とする 「生産システム科学専攻」、「ヘルスケアシステム科学専攻」 「グローカル文化学専攻」の3専攻の博士前期課程、博士後期課程を設置しています。

博士前期課程

3専攻が互いに連携し、専門共通科目・応用科目群や分野横断的専門科目群を配置し、世界のサステイナビリティに関する課題の抽出と探求に対して、多様なアプローチの可能性について認識を共有します。

博士後期課程

日本および世界の各地に普遍的に存在する諸課題を 抽出し、各専攻分野に固有な専門的方法論を駆使し、 それらの分析と解決への方向性を提案し、地域と国際 社会の持続的発展に貢献しうる高度専門人の育成をめ ざします。

専攻	取得できる学位	修業年限	入学定員	キャンパス
: <u>@</u> :	博士前期 修士[工学]	2年	15人	西海セレンパフ
生産システム科学専攻	博士後期 博士 [工学]	3年	2人	粟津キャンパス
₩	博士前期 修士[保健学]	2年	3人	末広キャンパス
ヘルスケアシステム科学専攻	博士後期 博士[保健学]	3年	1人	不はイドンバス
	博士前期 修士 [国際文化学]	2年	3人	中央キャンパス
グローカル文化学専攻	博士後期 博士 [国際文化学]	3年	1人	中犬イヤノハス

教育研究の特色

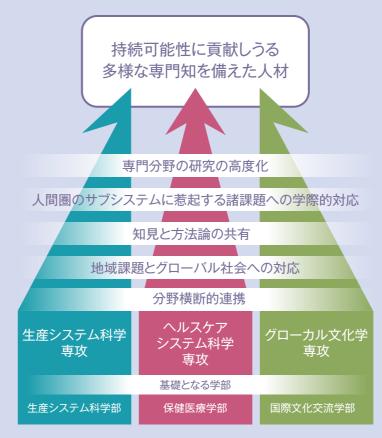
■ 3専攻に共通する教育プログラム

地域・世界の課題の認識と共有を図るオリエンテーションからスタートし、データ科学やAI、コミュニケーションスキルなど共通リテラシーの修得を図ります。また、専攻専門科目のほか分野横断的専攻専門科目を設け、他分野の考え方や研究手法を学びます。さらに、フィールドワークを通じたケーススタディ及びインターンシップを経験し、最終的に修了研究へとつなげます。1研究科3専攻という特色を生かし、専攻の垣根を超えた新しいコラボレーション、共同研究の可能性も追求します。

■ 複数教員による指導体制で 分野横断的な研究をバックアップ

指導は複数教員で行います。自専攻から主任指導教員1人と副指導教員1人の2人体制を基本とし、他専攻からも分野横断的専攻専門科目の履修や専門分野を超えた課題研究に関して助言・指導を行うアドバイザー教員1人以上を配置します。

博士前期課程・博士後期課程の概要





C

生産システム科学専攻

博士前期課程

生産システム科学専攻では、ものづくりの基盤となる機械工学を中心として電気・電子工学および情報科学などの関連分野を学び、これらの分野の統合的な展開を図っています。博士前期課程においては、データ・情報の新しい集積・活用法のみならず、医・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装力を備え、地球・地域に根ざした生産システムの開発と持続可能社会の建設に貢献できる人材を育成します。

入学者受入方針 アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求める。

- ▶ ものづくりの基本である機械工学、情報工学、電気電子工学の基盤となる学問分野についての基礎知識を身につけている人。
- ▶ 持続可能な生産プロセス実現の ため、機械工学、情報工学、電気 電子工学の活用に意欲的な人。
- ▶ 自らの専門に留まらず、他分野の 専門家と積極的に連携し、持続 可能性のための課題解決に取り 組む意欲と行動力を有する人。
- ▶ 地域の産業界と積極的に関わり、地域産業の発展のために活躍する意欲を有する人。

教育課程の編成・実施の方針

以下のとおり設定し、専門共通科目·応用科目、 専攻専門科目、修了科目を配置する。

- 持続的エネルギーシステムに関する課題を抽出できる能力を 修得する。
- 持続的生産システムのための数値・最適化手法、AI、ICTを活用できる能力を修得する。
- 地域産業の持続的発展のための先端材料・加工学やセンシン グ技術の社会実装力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる 幅広い視野・識見と創意性を修得する。



ピジュアルブログラミング

Student's Voice 大学院生インタビュー

現在はChatGPT (対話型AIチャットサービス) を教育現場で活用する方法について研究しています。ChatGPTは、高い言語処理能力を持っているため文章の要約や翻訳など様々な場所で使用されています。今後の世の中ではWordやExcelのように使えるのが当たり前になってくると予想しています。そこでChatGPTの活用方法を模索し、教育分野の特にプログラミング学習で活用できるのではないかと研究しています。

教育の現場では1対多数で授業を行っているため、個々のペースや理解度 に応じた教育を行うことが難しい状況です。特にプログラミングのような演

習を伴う授業ではサポートが必要な場面も多数生じてくると予想されます。ChatGPTはその高い言語処理能力によって1人ひとりの生徒に対して柔軟に対応することが可能だと考えています。このサービスが教育現場の人手不足や教育の質の向上に貢献できるシステムになることを期待しています。

稲葉 健斗 さん 生産システム科学専攻

博士後期課程

「ものづくり」についての課題を見出し、専門的および学際的学識を修得して持続可能な社会に貢献する高機能な製品や高度なシステムの研究、開発、生産プロセスの構築など、多様な方面で活躍できる研究者や指導者となる人材を育成することを目的とします。

入学者受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求める。

- ▶ ものづくりの基本である機械工 学の基盤となる種々の力学に関 する学問分野についての基盤的 知識を身につけている人。
- ▶ 持続可能な生産プロセス実現の ため、情報工学、電気・電子工学 を活用した DX やGX のシステ ム構築に意欲的な人。
- ▶ 自らの専門に留まらず、他分野の 専門家と積極的に連携し、持続可 能性のための課題解決に道筋を つける意欲と行動力を有する人。
- ▶ 地域の産業界と積極的に関わり、 地域産業の発展のために指導的 役割を果たす意欲を有する人。

教育課程の編成・実施の方針

以下のとおり設定し、研究科共通科目、 専攻専門科目、特別研究科目を配置する。

- 生産システムの研究開発や「ものづくり」の観点から、人類の 持続的発展のための諸課題に対し、機械工学、情報工学、電 子電気工学といった専門分野から構成されるカリキュラムを 編成、課題の解決と社会実装に向けての能力を育成するため の関連科目を配置する。
- 持続可能な社会の実現のための課題に対して自専攻以外の研究者と専門を越えて連携・協働し、新しい「ものづくり」を構築できる柔軟かつ幅広い総合的な研究能力を育成するための教科目を配置する。
- 持続可能かつ強靭な生産システムの研究開発のため、自然環境に配慮し、省エネルギー・省資源に適合した製造技術やICT・IoT・AI などのデジタル技術を活用できる高度な能力を育成するための教科目を配置する。
- 地域・国際社会で活躍できる資質を涵養するため、地域社会の持続的発展のための諸課題から世界が遭遇する普遍的課題を発見、その解決によって国際的に通用する地域産業を共創する技術を育成するための教科目を配置する。

生産システム科学専攻 研究のキーワード

■ エネルギー・安全工学分野

熱流体デバイス/数理物理学/交通工学など

材料・加工学分野

スポーツ工学 / 精密加工学 / トライボロジーなど

情報科学分

ダイナミクス・ロボティクス分野 _{設計工学}

計算力学/メカトロニクスなど

情報科学分野

前期課程・後期課程の区別なく記載しています。

詳細は下記QRコードから専任教員一覧をご確認ください。

人工知能 / データ科学など

電気・電子工学分野

ナノ・マイクロ科学 / 大気電気学など



生産システム科学専攻のサイト

30 00

専

攻

шш

博士後期課程

0

മ

博士後期課程

ヘルスケアシステム科学専攻

博士前期課程

生命倫理学に立脚したデータ情報の新しい集積・活用法に通暁し、エ・文分野の考え方も加えた幅広い展開力と社会実装 力を備え、持続可能なコミュニティづくりや医療機器開発に貢献できる人材を育成します。健康で幸福な市民生活の維持の 追求に寄与し、地域国際社会における持続性の向上に貢献します。

入学者受入方針 アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を 備えた入学者を求める。

- ▶ 本学保健医療学部が授与してい る学位 (看護学、臨床工学)を有 する者及び、それと同程度の学力 を有する人。
- ▶ 持続可能なヘルスケアを体系的 に構築するための発想力、共鳴 力、積極性、実行力、協調性を備 えた 人
- ▶ 人々の健康と幸福に寄与するた めの高い志をもち、キャリアパス として高度保健医療専門職業人・ 研究者、あるいは教育者としての 未来像を明確に描いている人。

教育課程の編成・実施の方針 カリキュラム・ポリシー

以下のとおり設定し、専門共通科目・応用科目、 専攻専門科目、修了科目を配置する。

- 過疎化、高度産業化などの社会要因や超高齢化などの生命要 因に起因する医療・保健・福祉に関する課題を抽出し、解決 への道筋を探る能力を修得する。
- 病院から在宅まで多様化する医療現場で求められるコミュニ ケーション能力や共鳴力を涵養し、全人的医療の基礎となる 生命・医療倫理に関する知識と考え方を修得する。
- 未来の包括的体系的ヘルスケアの構築に求められる健康・医 療データ・情報の活用法、医療技術・機器の知識とそれらを 改良・開発するための能力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる 幅広い視野・識見と

創意性を修得する。



Student's Voice 大学院生インタビュー

看護師として手術室で働いているのですが、職場で感じた疑問について論 理立てて学びたいと思い、大学院への進学を決めました。現在は週1回程度 ゼミに参加し、指導教員による指導や面談を受けています。細かなところも 助言をいただいたり、研究が上手くいかないときは視野を広げてもらったり と心強く感じています。大学へ行けない日にはオンラインで指導を受けるこ とができるなど、社会人が通いやすい仕組みが整っているため、仕事を続け ながら通うことができています。

研究内容は手術室での情報伝達についてです。私の研究によって、医療現 場で起こっている問題が少しでも解決することを期待しています。また、どの 患者さんにも平等にケアができるよう、看護に活かしたいと考えています。

角浦 裕里 さん ヘルスケアシステム科学専攻

博士後期課程

持続的に発展できるコミュニティ ヘルスケアを構築するために、健康と福祉に関する知識や研究能力を活用しかつ他分野 の専門家とも積極的に協働していくことで、コミュニティ ヘルスケアに関する現存の課題の解決策を提案していける高度専 門職業人、研究者、および大学教員の育成をめざします。

入学者受入方針

アドミッション・ポリシー

次のような能力・資質を 備えた入学者を求める。

- ▶ 本学ヘルスケアシステム科学専 攻が授与している修士の学位 (保健学)を有する者及び、それ と同程度の学力を有する人。
- ▶ 持続可能なヘルスケアを体系的 に構築するための発想力、共鳴 力、積極性、実行力、協調性を備 オた 人
- ▶ 人々の健康と幸福に寄与するた めの高い志をもち、キャリアパス として高度保健医療専門職業人・ 研究者、あるいは教育者としての 未来像を明確に描いている人。

教育課程の編成・実施の方針 カリキュラム・ポリシー

以下のとおり設定し、研究科共通科目、 専攻専門科目、特別研究科目を配置する。

- 保健・医療・福祉の観点から、人類の持続的発展のための諸課 題を明らかにし、それら課題の解決と社会実装に求められる看 護学、保健学、基礎医学、人間医工学、人間情報学といった専門 分野に関連する能力を育成するための関連科目を編成する。
- 持続可能な地域医療や医療のグローバル化を視点に新しい 保健・医療・福祉のシステムの創出につながる地域的・地球的 課題解決のための研究力を養い、固有な学問領域を超えて、 柔軟でかつ高度専門知の総合的運用能力を育成するための 教科目を配置する。
- 保健医療福祉科学に固有な学問領域の高度専門能力の涵養 を図り、他分野の専門家と協働して課題解決にあたる能力と 実践を備えた高度専門職業人や研究者を育成するための教科
- 国際的な感覚で医療を考え地域医療で活躍できる資質を涵 養するために、地域の医療や介護および医療のグローバル 化に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を構築 し、その成果を南加賀および北陸の地域医療と介護連携体制 の確保に役立てる力を修得するための教科目を配置する。

ヘルスケアシステム科学専攻 研究のキーワード

前期課程・後期課程の区別なく記載しています。 詳細は下記QRコードから専任教員一覧をご確認ください。

生体代行システム分野

●ヘルスケアシステム分野 基礎医学/感染看護学/エンドオブライフケアなど

●高齢者包括ケアシステム分野 ライフサイエンス / 看護学 / 脳科学など

> ●ヘルスパイオニアエンジニアリング分野 人間医工学/情報科学/看護理工学など

> > ●サステイナブルコミュニティ分野

生理学/女性看護学/栄養学など



ヘルスケアシステム科学専攻のサイト

医用生体工学 /

外科系臨床医学

生体材料学など



博士後期課程



グローカル文化学専攻

博士前期課程

南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域 社会の文化的多様性を探求する力を養います。データ・情報の新しい集積・活用法に通暁し工・医分野の考え方も加えた幅広 い展開力と社会実装力を備え、望ましい持続可能性のために行動し、世界のあらゆる場でリーダーシップを発揮して多文化 共生と国際社会に貢献できる人材を育成します。

入学者受入方針 アトミッション・ポリシー

次のような能力・資質を備えた入学者を求める。

- ▶ 高等教育機関において基礎的な 知識と技能を学修し、専門基礎 に関する知識を有する者。
- ▶ 言語文化学・政治経済学・観光 学の専門性を深めるなかで、豊 かな創造性と歴史感覚を働かせ るとともに、既存のアカデミズ ムの枠組みにとらわれない、先 見的かつ総合的な道筋を提案で 経済学・観きる人。
- ▶ 南加賀および北陸と国際社会の 持続可能性に関する諸課題を発 見し、解決に必要な能力と技術 を備え、自国の文化に誇りを持 ち、地域社会の文化的多様性を 探求する力を養いたい人。

教育課程の編成・実施の方針

以下のとおり設定し、専門共通科目·応用科目、 専攻専門科目、修了科目を配置する。

- 南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を修得する。
- 実地経験にもとづく的確な国際認識と多文化理解を身につけ、持続可能な社会の発展のための行動力を修得する。
- 持続的可能性を視点に新しい文明価値の創出につながる地域的・地球的課題解決のための研究力を修得する。
- 持続可能社会の実現に資する、専門分野を超えて協働できる 幅広い視野・識見と創意性を修得する。



研究対象:九谷焼



Student's Voice 大学院生インタビュー

中国の大学で日本語を学び、日本語能力を向上させるために日本の大学院に進学したいと考えていました。調べるうちに地域資源に関心を持ち、その分野を学ぶことができる本学大学院に進学しました。「地域資源学特論」という授業で訪問した九谷焼体験工房で、美術品として鑑賞することを主な目的とした従来の九谷焼を受け継いでいくこと(保存)と、現代の人に親しまれる九谷焼を作り、広めていくこと(活用)の両方の大切さを学びました。中国にも景徳鎮という陶磁器の産地があり世界最古の窯です。景徳鎮は元代から明代の頃に世界各国へ輸出され、世界中の陶磁器に影響を及ぼし、時代を経て発展してきました。その景徳鎮の活用方法で九谷焼に生かせる点がないか研究しています。九谷焼をはじめとした日本文化を深く理解し、将来は大学院で身につけた知識を生かした仕事をしたいです。

夏 莉 さん グローカル文化学専攻

博士後期課程

南加賀および北陸に軸足を置き、アジアを中心とした国際文化研究と連動させ、専門知識の深化と普遍的な思考、さらには分野を超えた専門的なスキルを有する人材を社会に送り出します。同時に、地域・国際課題を発見し、それを横断的・複眼的な視座から解決を試み、エシカルな行動様式を意識しながら、地域を活性化できる人材育成をめざします。

入学者受入方針

アドミッション・ポリシ

次のような能力・資質を備えた入学者を求める。

- ▶ 高等教育機関において基礎的な 知識と技能を学修し、専門基礎 に関する知識を有する人。
- ▶ 言語文化学・政治経済学・観光 学の専門性を深めるなかで、豊 かな創造性と歴史感覚を働かせ るとともに、既存のアカデミズ ムの枠組みにとらわれない、先 見的かつ総合的な道筋を提案で きる人。
- ▶ 南加賀および北陸と国際社会の 持続可能性に関する諸課題を発 見し、解決に必要な能力と技術 を備え、自国の文化に誇りを持 ち、地域社会の文化的多様性を 探求する力を養い、地域課題の 解決に指導的役割を果たす意志 を有する人。

教育課程の編成・実施の方針

以下のとおり設定し、研究科共通科目、専攻専門科目、特別研究科目を配置する。

- 国際文化という観点から、人類の持続的発展のための諸課題を明らかにし、言語文化学、観光学、政治・経済学といった専門分野において、それら課題の解決と社会実装に向けての能力を育成するための関連科目を編成する。
- 持続的可能性を視点に新しい文明価値の創出につながる地域的・地球的課題解決のための研究力を養い、固有な学問領域を超えて、柔軟でかつ高度専門知の総合的運用能力を育成するための教科目を配置する。
- 人文科学・社会科学に固有な学問領域の高度専門能力の涵養を図り、他分野の専門家と協働して課題解決にあたる能力と 実践を備えた研究者を育成するための教科目を配置する。
- 地域・国際社会で活躍できる資質を涵養するために、本学が立脚する南加賀および北陸と国際社会に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、その成果を南加賀および北陸の地域創生に役立てる力を修得するための教科目を配置する。

グローカル文化学専攻 研究のキーワード

前期課程・後期課程の区別なく記載しています。 詳細は下記QRコードから専任教員一覧をご確認ください。



大学院 令和7年度(2025年度)入学者選抜

公立小松大学院の入学者選抜は博士前期課程・博士後期課程それぞれ 異なる方法で実施します。詳細は募集要項で必ず確認してください。 なお、募集要項は博士前期課程・博士後期課程で別々に発行しています。



大学院 入学選抜 [博士前期課程] 詳細は公立小松大学ホームページで公表します。

選抜区分

出願資格を満たすものに対し、下記の入学選抜を実施します。 出願資格の詳細は募集要項(大学院博士前期課程)で確認してください。

一般選抜

令和7(2025)年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者又は本研究科が 大学卒業と同等以上の学力があると認めた者を対象に実施します。

社会人特別選抜

大学を卒業又は卒業見込みの者又は本研究科が大学卒業と同等以上の学力が あると認めた者で令和7(2025)年3月までに通算3年以上の職歴※を有し、入 学後も在職し、所属長の許可を受けた者を対象に実施します。

※生産システム科学専攻は教育研究機関、官公庁、企業等において通算2年以上の職歴を有するもの

外国人留学生特別選抜

令和7(2025)年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者又は本研究科が 大学卒業と同等以上の学力があると認めた者で、かつ、日本国籍を有しない者を 対象に実施します。

※出願前に出願資格審査を受ける必要がある場合があります。

博士前期課程につきまして、10月入学も受付しています。 10月入学を希望する場合は、博士前期課程の募集要項を確認してください。

入学者選抜方法 [博士前期課程]

学力試験、筆記試験、口述試験、研究計画書 及び 出身大学の成績等を総合して判定します。

専攻	入学定員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選拔
生産システム科学専攻	15	▶ 学力試験 *▶ 口述試験▶ 英語外部試験	▶ 書類審査▶ 口述試験	書類審査学力試験及び口述試験
ヘルスケアシステム科学専攻	3	● 書類審査 ● 筆記試験 専門分野についての学力 と当該分野の研究に必要 な外国語能力を問う ■ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 筆記試験または口述試験
グローカル文化学専攻	3	書類審査筆記試験専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う□ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 筆記試験または□述試験

※成績優秀者については学力試験を免除し、口述試験に専門基礎学力に関する質疑を含めることとする。

[単位:人]



大学院 入学選抜 [博士後期課程] 詳細は公立小松大学ホームページで公表します。

出願資格を満たすものに対し、下記の入学選抜を実施します。 選抜区分 出願資格の詳細は募集要項 (大学院博士後期課程) で確認してください。

一般選抜

令和7(2025)年3月までに修士の学位又は専門職学位を有する者及び取得 見込みの者又は本研究科が修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上 の学力があると認めた者を対象に実施します。

社会人特別選抜

修士の学位又は専門職学位を有する者又は本研究科が修士の学位又は専門職 学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、かつ、令和7(2025) 年3月までに通算3年以上の職歴※を有し、入学後も在職し、所属長の許可を受 けた者を対象に実施します。

※生産システム科学専攻は教育研究機関、官公庁、企業等において通算2年以上の職歴を有する者

外国人留学生特別選抜

令和7(2025)年3月までに修士の学位又は専門職学位を有する者及び取得 見込みの者又は本研究科が修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上 の学力があると認めた者で、かつ、日本国籍を有しない者で、在留資格が「留 学」を有する者又は入学時に「留学」に変更又は取得できる見込みの者を対象に 実施します。

※出願前に出願資格審査を受ける必要がある場合があります。

入学者選抜方法 [博士後期課程]

口述試験、修士論文又はこれにあたるもの及び研究計画書の書類審査を総合して判定します。

専攻	入学定員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	2	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験
ヘルスケアシステム科学専攻	1	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験
グローカル文化学専攻	1	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験	▶ 書類審査▶ 口述試験

[単位:人]

人試情報 [博士後期課程

0

0

=

G

ra

0

ച

æ S

—

 \triangleright 0

≡.

S 0

### PR	教員E	氏名	役職	専門領域	研究内容	大学院 兼 任
本村 惠 副学兵(領有担当) ド/ツ学・彩報李慈芙蓉 学能帝庭女孩、規如上初2名/治品人供及のビア・サボート 第	学	長・副学	長			
本村 第月	山本	博	学長	医学	糖尿病血管症の成因・病態・克服に関する研究	
中では、	志村	恵	副学長(教育担当)	ドイツ学、多胎家庭支援	多胎家庭支援、地域における外国人市民のピア・サポート	
中華	木村	繁男	大学院サステイナブル	熱工学·環境流体	浮力を駆動力とする対流熱伝達と地熱エネルギーに関する研究	
日本						
本産ンシス・シム等等数 アータ科学 Al. Io It ぶの美術物別 株本 1 中の 1 中	生產	産システノ				
選手 忍 学科長 スポーツ工学 スポーツ工学 スポーツ円泉の研究、高性家トレーニングマンシの研究開発 歌野原 陽子 数度 熱路は工学 元シンスを始める情報を作う流せませぬ スポーツ工作	上田	芳弘		データ科学	AI、IoTによる異常検知、検査工程の自動化に関する研究	
歌野原 陽 教授 施政体工学 発電プラハにおける場合物質の輸送を作う流体収象	生產	産システノ	4科学科			
大西 元	酒井	忍	学科長	スポーツ工学	スポーツ用具の研究、高性能トレーニングマシンの研究開発	
番川 博之 教授 類似工学面次 機器や計画を高い開発と概念や計画を高い開発と開発と呼吸法院を 素洋 教授 トライがロジー・堺園科学 デバイス 材料界面の力学応答における分子率助辞明と評価法開発 上野 社務 助教 工作機械、ロが小工学 発見と学部による打き機体は150%かアームの高限度化、地域化、投する研究 現 会星 教授 競社工学 CAE	歌野原	孫 陽一	教授	熱流体工学	発電プラントにおける熱・物質の輸送を伴う流体現象	
## 特定	大西	元	准教授	流体·熱工学	フィンレス熱交換器の高性能化と相変化熱輸送デバイスの開発	
上野 祐亮 助教 工作機械・ロボット工学 発見と学部による工作機械はよびロボッケアームの素積度に知能化に関する研究 複合構造・ナノ構造における構造量過2計に関する研究 棚川 見 教授 精密加工学生産工学 切別加工・高部加工・商車は工たによる様々の材料の指す事業を再発の加工もの研究 神密加工 一層 単数授 機械工学 スマート型立住駐車等支援システムに関する研究	香川	博之	教授	機械工学·雪氷	機器や計測装置の開発と機能や強度の解析評価	
史 金星 教授 設計工学-CAE 操合構造・ナノ構造における構造最適的計に関する研究 報照加工学生産工学 25位加工、場面加工が日本の場合を実施する品位加工がの研究 4億円加工学生産工学 25位加工、場面加工が日本の場合を実施する品位加工がの研究 25位加工、場面加工が日本の場合を実施を実施を発施する品位加工がの研究 25位加工で表の情報の表の影響 25位加工を表の情報の表の影響 25位加工で表の情報の表の影響 25位加工で表の情報の表の影響 25位加工学の方式を表現で表の影響 25位加工学の方式を表現で表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表面が表	粕谷	素洋	教授	トライボロジー・界面科学	デバイス·材料界面の力学応答における分子挙動解明と評価法開発	
細川 見 教授 精密加工学・生産工学 切り助工・研印工・研印工・研印工による各々の制作の報告、高本・集品位加工法の研究 および加工服金が出生活を開発 これでしているとの研究 および加工服金が出生活を開発 これでしているとの これでいた 意味 はいています また はいています もの また はいていまか はいています また はいない また はいています また はいています また また はいない また はいています また はいています また はいています また はいない また はいない また はいない また また また また はいない また はいない また	上野	祐亮	助教	工作機械、ロボット工学	発見と学習による工作機械およびロボットアームの高精度化、知能化に関する研究	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	史 釒	建	教授	設計工学·CAE	複合構造・ナノ構造における構造最適設計に関する研究	
一般類 真一	細川	晃	教授	精密加工学·生産工学		
正津 正利 海桜 メカトロニクス ロボットの運動制御、パワーアシスト後の研究開発 (機械力学 関性センサをベースとしたウェアラブルシステムによる3次元達制解析法の開発・適用 地田 関治 海教授 観気応用工学 磁性微粒子材料を用いた。画周波磁気応用や微細加工技術の研究 地口 幸三 准教授 大気電気学 電磁界計測および静電界計測に基づいた書 需量の規測的研究 様原 枯輔 教授 人工知能 機械学習による高齢ドライバーの運転技能の定量化 切本 一磨 助教 知能情報学 SNSユーザの属性指定や社会事象の抽出、人物返滅とスポーツ情報処理に関する研究 ・	朴言	原	准教授	金属材料·加工	新たな構造材料及びそのプロセッシングの研究開発	
 高瀬 圭 教授 機械力学 惯性と・サをヘースとしたウェアラブルンステムによる3次元運動解析法の開発・適用 間治 准教授 磁気応用工学 磁性微粒子材料を用いた。高周波磁気応用や機細加工技術の研究 電磁界計測なよび静電界計測に基づいた雷 雷雲の穀渕的研究 視原 枯輔 教授 人工知能 機械学画による両齢ドライバーの運転技能の定単化 が精 教授 人工知能 機械学画による両齢ドライバーの運転技能の定単化 が計 か学の数理的方法を用いた情報科学の静田人 教授 数理情報学 統計力学の数理的方法を用いた情報科学分野の研究 が 加騰科学・器知神経力学の設理的方法を用いた情報科学分野の研究 が 加騰科学・器知神経力学の設理的方法を用いた情報科学分野の研究 が 加騰科学・器知神経力学の設理的方法を用いた情報科学分野の研究 が 加騰科学・器知神経力学の設理とデルを回数解析や確率論などを用いて教理物理 量子フォークなどの数理モデルを回数解析や確率論などを用いて教理物理の立場から研究 保健医療学部 教授 数理物理 量子フォークなどの数理モデルを回数解析や確率論などを用いて教理物理の立場から研究 保健医療学部	舟瀬	真一	准教授	機械工学	スマート型立体駐車場支援システムに関する研究	
池田 慎治 准教授 磁気応用工学 磁性微粒子材料を用いた高層波磁気応用や微細加工技術の研究 基本	疋津	正利	准教授	メカトロニクス	ロボットの運動制御、パワーアシスト装置の研究開発	
山下 幸三 准教授 大気電気学 電磁界計制および静電界計測に基づいた雷音響の観測的研究 梶原 祐輔 教授 人工知能 機械学習による高齢ドライバーの運転技能の定量化 板本 一磨 助教 知能情報学 SNSユーザの属性推定や社会事象が出土、外認課とスポーツ情報処理に関する研究 材山 立人 教授 数理情程学 統計力学の数理的方法を用いた情報科学分野の研究 藤原 正幸 助教 知識科学の数理的方法を用いた情報科学分野の研究 篠原 晋 教授 物理学 波動カオス理論とその微小共振器レーザーへの応用 参木 章斗 教授 数理物理 量子ウォークなどの数理モデルを燃散解析や確率論などを用いて数理物理の立場から研究 (保健医療学部) 着田 真由美 ***********************************	廣瀬	圭	教授	機械力学	慣性センサをベースとしたウェアラブルシステムによる3次元運動解析法の開発・適用	
振原	池田	愼治	准教授	磁気応用工学	磁性微粒子材料を用いた高周波磁気応用や微細加工技術の研究	
版本 一層 助教 知能情報学 SNSユーザの属性推定や社会事象の抽出、人物認識とスポーツ情報処理に関する研究 財山 立人 教授 教理情報学 総計力学の教理の方法を用いた情報科学分野の研究 藤原 正幸 助教 知識科学・認知神経力学 認知神経力学 認知神経力学的観点による人間のコミュニケーションに関する研究 篠原 晋 教授 物理学 淀動力オス理論とその微小共振器レーザーへの応用 量子ウォークなどの教理モデルを関数解析や確率論などを用いて教理物理の立場から研究 徐田 真由美 学科長 成人看護学 在宅看護学 在宅積護学 在宅積護学 在宅積護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 看護学科 松井 優子 学科長 成人看護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 高木 祐介 学長補佐 公衆衛生学・スポーツ栄養学 様々の気象・環境条件下における食事・身体活動時の生理学的応答及び心理学的応答の変化 伊藤 道子 教授 基礎看護学 新護師が使用する物品の安全な管理方法の研究 上田 映美 准教授 基礎看護学 高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究 静本 中枢子 助教 基礎看護学 即総総計無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 助藤 千夏 講師 基礎看護学 即総総計無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 計山 美穂 推教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 基礎看護学 別ンパ路浮腫のセルフケア構築に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 ジカリンドリテーションに関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 東田 海学 財教 水名看護学 原えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 本森 佳子 教授 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 本森 佳子 教授 成名着選学 前田 奈津子 助教 老年看護学 高齢名の業物療法や排泄への支援に関する研究 本年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 本年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 本年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 本年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 本年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 本年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 本年養護学 「型糖尿病をもつ子どもの血糖・腫薬モニタリングに関する研究 本年養護学 「型糖尿病をもつ子どもの血糖・腫薬モニタリングに関する研究 本年養護学 「型糖尿病をもつ子どもとその療族への支援に関する研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	山下	幸三	准教授	大気電気学	電磁界計測および静電界計測に基づいた雷·雷雲の観測的研究	
村山 立人 教授 数理情報学 統計力学の数理的方法を用いた情報科学分野の研究 藤原 正幸 助教 知識科学・認知神経力学 認知神経力学的観点による人間のコミュニケーションに関する研究 篠原 晋 教授 物理学 波動カオス理論とその微小共振器レーザーへの応用 量子ウォークなどの数理モデルを開放解析や確率論などを用いて教理物理の立場から研究 第45年 第 4次カアアステム科学専政長 在宅療養をする人と家族への支援、排便ケアに関する研究 看護学科 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 番離石 学長補佐 公衆衛生学・スポーツ栄養学 種々の気象環境条件下における食事 身体活動時の生理学的応音及び心理学的応音の変化 辞 基礎看護学 看護師が使用する物品の安全な管理方法の研究 高木 祐介 学長補佐 公衆衛生学・スポーツ栄養学 種々の気象環境条件下における食事 身体活動時の生理学的応音及び心理学的応音の変化 辞 基礎看護学 若護師が使用する物品の安全な管理方法の研究 高神経 基礎看護学 高齢者の下絶浮腫に対するケアと評価指標の研究に関する研究 静本 由依子 助教 基礎看護学 随眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 が 上田 映美 准教授 基礎看護学 随眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 別ンパ湯浮腫のセルフケア構築に関する研究 精神保健看護学 リンパ湯浮腫のセルフケア構築に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 窓知リハビリテーションに関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 窓知リハビリテーションに関する研究 加田 奈津子 助教 成人看護学 見えない末精静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 東企患者への看護アセスメントに関する研究 かま 食者看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 一郎理 敬子 助教 半年看護学 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 1型糖尿病をもフォどもの血腫・睡眠モニタリングに関する研究 1型糖尿病をもフォどもの血腫・睡眠モニタリングに関する研究 1型糖尿病をもフォどもの血腫・睡眠モニタリングに関する研究 1型糖尿病をもフォどもの血腫・睡眠モニタリングに関する研究 1型糖尿病をもフォどものの支援に関する研究 1型糖尿病をもフィどものある子どもとその家族への支援に関する研究 内性看護学 内壁球管理と栄養教育に関する研究	梶原	祐輔	教授	人工知能	機械学習による高齢ドライバーの運転技能の定量化	
藤原 正幸 助教 知識科学認知神経力学 認知神経力学の設点による人間のコミュニケーションに関する研究 様原 晋 教授 物理学 波動カオス理論とその微小共振器レーザーへの応用 量子ウォークなどの数理モデルを関数解析や確率論などを用いて数理物理の立場から研究 伊藤 真由美 学科長 成人看護学 在宅療養をする人と家族への支援、排便ケアに関する研究 看護学科 松井 優子 学科長 成人看護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 香護学科 松井 優子 学科長 成人看護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 香護学科 松井 優子 学科長 成人看護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 香護学科 松井 優子 学科長 成人看護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 香護師が使用する物品の安全な管理方法の研究 上田 映美 准教授 基礎看護学 高齢者の影評師に対するケアと評価指標の開発に関する研究 ・ 一直	坂本	一磨	助教	知能情報学	SNSユーザの属性推定や社会事象の抽出、人物認識とスポーツ情報処理に関する研究	
藤原 晋 教授 物理学 波動カオス理論とその微小共振器レーザーへの応用 量子ウォークなどの教理モデルを関数解析や確率論などを用いて教理物理の立場から研究 (保健医療学部 (集田 真由美	村山	立人	教授	数理情報学	統計力学の数理的方法を用いた情報科学分野の研究	
### 一個	藤原	正幸	助教	知識科学·認知神経力学	認知神経力学的観点による人間のコミュニケーションに関する研究	
保健医療学部 徳田 真由美 学部長 業	篠原	晋	教授	物理学	波動カオス理論とその微小共振器レーザーへの応用	
### 表	鈴木	章斗	教授	数理物理	量子ウォークなどの数理モデルを関数解析や確率論などを用いて数理物理の立場から研究	
### 真由美 学部長 兼						
### 真由美 学部長 兼	保	建医療学部	В			
松井 優子 学科長 成人看護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 高木 祐介 学長補佐 公衆衛生学・スポーツ栄養学 種々の気象・環境条件下における食事・身体活動時の生理学的応答及び心理学的応答の変化 伊藤 道子 教授 基礎看護学 看護師が使用する物品の安全な管理方法の研究 上田 映美 准教授 基礎看護学 高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究 加藤 千夏 講師 基礎看護学 理能暗無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 鈴木 由依子 助教 基礎看護学 リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究 片山 美穂 准教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 相上 律子 助教 規名養護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護療族の支援に関する研究 潜田 恵理 助教 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護療族の支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 津田 裕子 助教 ・ と年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 ・ 小児看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 ・ 小児看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 ・ 小児看護学 日型糖尿病をもつ子どもの血糖一睡眠モニタリングに関する研究 ・ 小児看護学 日型糖尿病をもつ子どもの血糖一睡眠モニタリングに関する研究 ・ 小児看護学 日型糖尿病をもつ子どもの血糖一睡眠モニタリングに関する研究 ・ 小児看護学 日型糖尿病をもつ子どもの血糖一睡眠モニタリングに関する研究 ・ 小児看護学 日連麻尿病をもつ子どもの血糖一種味モニタリングに関する研究 ・ 小児看護学 日連麻尿病をもつ子どもの血糖一種味モニタリングに関する研究			学部長 兼	在宅看護学	在宅療養をする人と家族への支援、排便ケアに関する研究	•
松井 優子 学科長 成人看護学 がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究 高木 祐介 学長補佐 公衆衛生学・スポーツ栄養学 種々の気象環境条件下における食事・身体活動時の生理学的応答及び心理学的応答の変化 伊藤 道子 教授 基礎看護学 看護師が使用する物品の安全な管理方法の研究 上田 映美 准教授 基礎看護学 高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究 加藤 千夏 講師 基礎看護学 睡眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 鈴木 由依子 助教 基礎看護学 リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究 片山 美穂 准教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 加田 奈津子 助教 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 当田 勘教 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 潜田 恵理 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 清田 裕子 助教 小児看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖一睡眠モニタリングに関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖一睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの家族への支援に関する研究	看	護学科	WATTENA			
高木 祐介 学長補佐 公衆衛生学・スポーツ栄養学 種々の気象・環境条件下における食事・身体活動時の生理学的応答及び心理学的応答の変化 伊藤 道子 教授 基礎看護学 看護師が使用する物品の安全な管理方法の研究 上田 映美 准教授 基礎看護学 高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究 加藤 千夏 講師 基礎看護学 理眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 が木 由依子 助教 基礎看護学 リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究 大山 美穂 准教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 は日 奈津子 助教 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 本森 佳子 教授 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 本年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 当里 助教 老年看護学 高齢名の看護アセスメントに関する研究 第一 恵理 助教 老年看護学 高齢名の素物療法や排泄への支援に関する研究 1 世祖尿病をもつ子どもの血糖一睡眠モニタリングに関する研究 1 世種展学 原産財の健康管理と栄養教育に関する研究		_	学科長	成人看護学	がんの治療を受けている患者の皮膚への影響に関する研究	
伊藤 道子 教授 基礎看護学 高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究 加藤 千夏 講師 基礎看護学						
上田 映美 准教授 基礎看護学 高齢者の下腿浮腫に対するケアと評価指標の開発に関する研究 加藤 千夏 講師 基礎看護学 睡眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 鈴木 由依子 助教 基礎看護学 リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究 片山 美穂 准教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 相上 律子 助教 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 重症患者への看護アセスメントに関する研究 小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 営田 恵理 助教 老年看護学 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 津田 裕子 助教 ・						
加藤 千夏 講師 基礎看護学 睡眠時無呼吸症候群患者のCPAP療法を支援する研究 鈴木 由依子 助教 基礎看護学 リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究 片山 美穂 准教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 木森 佳子 教授 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 重症患者への看護アセスメントに関する研究 小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 誉田 恵理 助教 老年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 津田 裕子 助教 水年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 がアルースを表しています。 カー・フルフレイルと食支援に関する研究 がアルースを表しています。 カー・フルフレイルと食支援に関する研究 「関連・大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大						
鈴木 由依子 助教 基礎看護学 リンパ腺浮腫のセルフケア構築に関する基礎的研究 片山 美穂 准教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 木森 佳子 教授 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 重症患者への看護アセスメントに関する研究 小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 誉田 恵理 助教 老年看護学 高齢名型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究					.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
片山 美穂 准教授 精神保健看護学 ストレングスモデルを活用した支援に関する研究 相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 木森 佳子 教授 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 重症患者への看護アセスメントに関する研究 小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 営田 恵理 助教 老年看護学 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 が、 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 が、 かぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
相上 律子 助教 精神保健看護学 認知リハビリテーションに関する研究 木森 佳子 教授 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 重症患者への看護アセスメントに関する研究 小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 営田 恵理 助教 老年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
木森 佳子 教授 成人看護学 見えない末梢静脈など生体内を「可視化する」技術に関する研究 山田 奈津子 助教 成人看護学 重症患者への看護アセスメントに関する研究 小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 誉田 恵理 助教 老年看護学 高齢名の薬物療法や排泄への支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
山田 奈津子 助教 成人看護学 重症患者への看護アセスメントに関する研究 小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 営田 恵理 助教 老年看護学 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
小泉 由美 教授 老年看護学 タクティールケアおよび認知症高齢者と介護家族の支援に関する研究 営田 恵理 助教 老年看護学 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究	-					
営田 恵理 助教 老年看護学 高齢2型糖尿病者のオーラルフレイルと食支援に関する研究 津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
津田 裕子 助教 老年看護学 高齢者の薬物療法や排泄への支援に関する研究 小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
小田 梓 助教 小児看護学 1型糖尿病をもつ子どもの血糖ー睡眠モニタリングに関する研究 前田 朱美 助教 小児看護学 発達に特性のある子どもとその家族への支援に関する研究 坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
前田 朱美 助教						
坂本 めぐみ 教授 母性看護学 周産期の健康管理と栄養教育に関する研究						
山田 貝代 講師 母性看護学 妊婦健診実習の実践能力に関する研究		<u> </u>				
	ЩЩ	貢代	講師	母性看護学	妊婦健診実習の実践能力に関する研究	

教員	氏名	役職	専門領域	研究内容	大学院 兼 任
久司	留理子	助教	母性看護学	社会的ハイリスク妊婦の支援に関する研究	
彦	聖美	教授	在宅看護学	男性家族介護者に関する研究/エンドオブライフケアに関する研究	
矢口	和美	助教	在宅看護学	地域で暮らす高齢者・家族介護者の支援と介護ロボットの有用性に関する研究	
中田	明恵	教授	公衆衛生看護学	保健事業の評価や地域の健康データを用いた研究/ALとその評価に関する研究	;
池田	美智子	助教	公衆衛生看護学	ダイオキシン類の環境汚染が小児に与える影響に関する研究	
塚谷	才弘	助教	公衆衛生看護学	ヘルスプロモーションにおける医療·保健データの活用に関する研究	
保	健医療学部	3			
	床工学科				
山岡	哲二	学科長	バイオマテリアル	生体内の細胞の治癒力を発揮させる機能性バイオマテリアルの研究	
北浦	 弘樹	教授	病態神経科学	てんかんの病態生理学的研究	
仲田		教授	組織学	形態学的研究、主に生殖器系	
藤田			人工知能	学際的な視点から人工知能を開発・探求する	
井澤	純子	講師	情報科学(画像解析)	コンピュータビジョン、医用画像解析、生体情報解析、機械学習	
<u>///</u> 山岡	·····································	教授	生体医工学	生体光イメージング、バイオフォトニクス、精密光計測、非線形光学	
		教授	人間医工学	脳の運動制御能力の分析による高齢者のヘルスケアと医療支援に関する研究	
<u></u>	* 个 泰成	教授	生体医工学	脳波を使ったブレイン・マシン・インタフェースの臨床応用	
野川	雅道	推教授	生体医工学	在宅・ベッドサイドモニタ、福祉・介護機器、治療機器	
山田	昭博	准教授	人工臓器医工学	先天性心疾患の血行動態解明と肺循環補助システムの研究開発	
佐藤	宜伯	准教授	生体医工学		
鈴木	番出 都斗			人工透析用膜素材に関する研究	
亚小小	那十	助教	生体医工学	健康管理のための光計測手法・デバイスに関する研究	
田	数サル六法	2000年			
	際文化交流	学部長 兼	시스====		
岡村	徹	学部長 兼 グローカル文化学専攻長	社会言語学	言語間接触に関する研究	•
岡村国	徹 際文化交流	学部長兼クローカル文化学専攻長で学科			•
岡村 国	徹 際文化交流 茂樹	学部長 兼 グローカル文化学専攻長で学科	観光人類学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究	•
岡村 国 村谷 小原	徹 <u>際文化交流</u> 茂樹 文衛	学部長 兼 グローカル文化学専攻長 で学科 学科長	観光人類学 映画研究·文学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究	0
岡村 国 村谷 小原 中子	徹 <u>際文化交流</u> 茂樹 文衛 富貴子	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究	•
岡村 国 村 小原 中 朝倉	徹 察文化交流 茂樹 文衛 富貴子 由希	学部長 兼 グローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究	•
岡村 	微 祭文化交流 茂樹 文衛 富貴子 由希	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会 産業システムの競争優位性	•
岡村 村 村 小 中 朝 清 村	徹 際文化交流 茂樹 文衛 富貴子 由希 則治 誠	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、バリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究	• • • •
村 国 村 中 朝 清 木 陳 一村 国 谷 原 子 倉 一村	徹際文化交流 茂樹 文衛 富貴子 由希 訓治 誠	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツツーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
村 国 村 田 中 朝 清 木 陳 鍾	徹 際文化交流 茂樹 文衛 富貴子 由希 則治 誠 慶光	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、バリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
村 国谷原子倉 村 月 島	徹 際文化交流 茂樹 文衛 富貴子 由希 訓治 誠 髪 以江 薫	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 准教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツツーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
岡 村 国 村 内 中 朝 清 木 陳 鍾 西 望 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	徹 際文化交流 茂敬 文 富貴子 由希 訓 誠 變 光 江 薫 葵	学部長 兼 グローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学 日本・東アジア近現代史	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツソーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割 日本と東アジアの歴史と文化に関する研究	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
岡 村 国 村 内 中 朝 清 木 陳 鍾 西 望 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	徹 際文化交流 茂樹 文衛 富貴子 由希 訓治 誠 髪 以江 薫	学部長 兼 グローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 推教授 教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学 日本・東アジア近現代史 東南アジア地域研究	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツツーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割 日本と東アジアの歴史と文化に関する研究 民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究	0
岡	徹 際文化交流 茂敬 文 富貴子 由希 訓 誠 變 光 江 薫 葵	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 推教授 教授 諸師 講師	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学 日本・東アジア近現代史 東南アジア地域研究 地域研究、難民研究	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツソーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割 日本と東アジアの歴史と文化に関する研究 民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究 シリア難民の生存基盤の再構築に関する研究	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
岡・杓小中朝清木陳鍾西望一西村国谷原子倉「村『」島月ノ村	徹 祭文化交流 茂樹 文衛 富 由希 訓 誠 光 江 薫 葵 忠之	学部長 兼 グローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 複教授 教授 教授 進教授 教授 進教授 教授 進教授 教授 進教授 教授 進教授 教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学 日本・東アジア近現代史 東南アジア地域研究 地域研究、難民研究	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、バリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツツーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割 日本と東アジアの歴史と文化に関する研究 民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究 シリア難民の生存基盤の再構築に関する研究	
岡■杓小中朝清木陳鍾 西望一西長·村国谷原子倉『村』』島月ノ村辻·	徹 祭文化交流 茂 文 富 東 富 東 忠 之 東 東 忠 ・	学部長 兼 クローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 教授 選師 講師 講師	観光人類学 映画研究・文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学 日本・東アジア近現代史 東南アジア地域研究 地域研究、難民研究 国際貿易論 日本文学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツツーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割 日本と東アジアの歴史と文化に関する研究 民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究 シリア難民の生存基盤の再構築に関する研究 グローパリゼーションが内包する問題と新興経済諸国の研究 日本古典文学・能楽史に関する研究	
岡・杓小中朝清木陳鍾西望一西長島一村国谷原子倉「村」」島月ノ村辻内	徹 祭文化交流 茂文 衛 富 由 治 誠 光 江 薫 葵 忠 之	学部長 兼 グローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 複教授 複教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	観光人類学 映画研究·文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学 日本・東アジア近現代史 東南アジア地域研究 地域研究、難民研究 国際貿易論 日本文学 英語学・言語学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツツーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割 日本と東アジアの歴史と文化に関する研究 民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究 シリア難民の生存基盤の再構築に関する研究 グローバリゼーションが内包する問題と新興経済諸国の研究 日本古典文学・能楽史に関する研究 発話解釈における日英語の接続表現に関する研究	0 0 0 0 0 0
岡■杓小中朝清木陳鍾西望一西長島デ!村国谷原子倉『村』』島月ジ村辻内ニ	徹 祭文化交流 茂文 富 由 治 誠 光 江 薫 葵 忠 幸 彦	学部長 兼 グローカル文化学専攻長 で学科 学科長 学長補佐 教授 准教授 准教授 准教授 複教授 複教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	観光人類学 映画研究・文学 観光、観光社会学 文化政策 地域産業システム 心理学 観光学 日本・東アジア近現代史 東南アジア地域研究 地域研究、難民研究 国際貿易論 日本文学 英語学・言語学	マヤ遺跡公園の観光化と地域社会の関与に関する研究 アメリカ映画の精神分析・技法論・歴史学的研究 地域観光の促進、パリアフリー観光に関する研究 文化政策の国際比較、芸術文化の多面的な意義に関する研究 地域社会・産業システムの競争優位性 心理検査の開発・研究、環境適応と行動変容に関する研究 スポーツツーリズムによる地域活性化、観光におけるICT技術の活用と役割 日本と東アジアの歴史と文化に関する研究 民主化期インドネシア地方社会における地方王権に関する研究 シリア難民の生存基盤の再構築に関する研究 グローバリゼーションが内包する問題と新興経済諸国の研究 日本古典文学 能楽史に関する研究 発話解釈における日英語の接続表現に関する研究 第三言語取得論に基づく英語教育に関する研究	

大	学院			
サ	ステイナ	ブルシステム科	科学研究科 [専任]	
髙山	純一	教授	土木計画学、交通工学、 都市計画	交通工学、都市計画、防災計画を活用した交通・防災まちづくり
盛永	審一郎	特任教授	応用倫理学·実存倫理学	生命倫理学・環境倫理学の諸問題を「人間の尊厳」概念を核にして解明
中村	誠—	特別招聘教授	マヤ文明研究・ マヤ考古学·文化資源学	文理医融合アプローチによるマヤ文明コバン王朝のダイナミクス解明
小川	雅洋	特任助教	マヤ考古学、文化資源学	マヤ南東部における地域間交流の研究

テクスト言語学に関する基礎研究、教授法理論に関する応用研究

言語学、中国語教育

単 艾婷

講師

æ

_

0

മ

æ

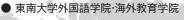
9

国·地域別海外連携機関

留学や語学研修、インターンシップなどに学生を派遣します。

- 大学間交流協定 12件
- 部局間交流協定 5件
- その他 (機関)
- ★ 海外オフィス 3か所

【アジア】

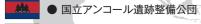




- 建国科技大学
- 国立中央大学英米語文学科·言語センター ● 国立中山大学工学部
- - 湖西大学校



- プリンス・オブ・ソンクラ大学
- ランシット大学 ● モンクット王立工科大学トンブリー校産業教育技術学部
- 泰日工業大学
- ナレスワン大学社会科学部



- トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学
- - ハサヌディン大学

【北米】

- オースティン・ピー州立大学
 - ★ シリコンバレーオフィス

【中南米】

- グアテマラ共和国文化スポーツ省文化自然遺産副省
- デル・バジェ大学
 - ★ ティカル リエゾンオフィス
- - ホンジュラス国立人類学歴史学研究所 ● コパン・ルイナス市役所

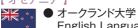
★ コパン リエゾンオフィス



● サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学

連携先や留学等





English Language Academy



協定校交換留学

1年以内の間、本学に在籍 しつつ海外協定校で教育を 受けるプログラムです。



短期語学研修 異文化体験実習

長期休暇を利用し、2週間から1ヶ月程 度の海外語学研修、異文化体験実習を実 施しています。



海外インターンシップ等

海外連携機関において2週間程度の海 外インターンシップを実施しています。ま た、海外オフィスを活用し、産官学合同シ リコンバレー研修を実施しています。



トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 留学期間:2023年6月~2023年10月

私がマレーシアに留学を決めた理由は、英語も中国語もどちらも学び、多文化の中 で生活してみたかったからです。マレーシア留学はまだメジャーではなく現地に行く までは不安でしたが、留学が始まってからは人の温かさに何度も触れ、不安もなくあ りのままで過ごすことが出来ました。毎日綺麗な夕焼けを見たり、夜はよくプールサイ ドで月を見ながら友達と語り合ったりして、勉強だけの生活ではなく南国らしくのん びり過ごしました。海外での勉強や生活を通して自分と向き合うきっかけが増え、決 断力、自分の決断を信じる力が身につきました!



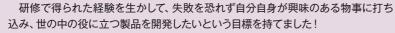
佐竹 優芽 さん 国際文化交流学科

産官学合同シリコンバレー研修 海外インターンシップ

今村 朱里 さん 生産システム科学科

研修に参加した理由は、現地の企業を見学しそこで働く人々と会うことで、創造性 を引き出す考え方や環境に触れたいと考えたからです。

研修中は、Apple社やスタンフォード大学に訪問し、そこで働く日本人の方の講義 を受けました。また、現地で起業した日本人の方と交流する機会もあり、その方々か ら成功は失敗なしで生まれず、あきらめないで挑戦することが大切だということを学 びました。





サークル活動

文化系・運動系の多種多様なサークルが活動しています(2024 年3月現在、文化系が20、運動系が13サークルあります)。サー クル活動は、各キャンパス内の教室や施設のほか、末広体育館や 陸上競技場などの運動施設や町家ハウスRyusukeなどの市内 の公共施設も利用できます(公共施設は、学生を対象に利用料 の割引があります)。







大学祭 「青松祭 |

実行委員会の学生たちが自ら企画・準備し、 中央キャンパスを中心に毎年10月に開催してい ます。ダンスや音楽などのステージパフォーマン スや、模擬店、各種サークルの発表などが行われ ます。



地域行事

5月の「お旅まつり」や10月の「どんどんまつ り」など、地域の伝統行事やイベントにも積極的 に学生が参加しています。また、海岸清掃ボラン ティアや福祉施設でのボランティアなど、学生の 地域貢献・社会貢献活動も支援しています。



お旅まつり (2022)

大学生活を写真と動画で紹介

サークル紹介や学生のインタビュー動画な どを大学ホームページに掲載しています。公 立小松大学生のリアルなキャンパスライフを 覗いてみましょう。





3

7

~

3

æ _

S

7

7

キャリアサポートセンター

1年次から、職業観の醸成を目指したキャリア教育 や各種プログラムを提供し、段階的にキャリア形成を 進めていきます。個別面談にも力を入れ、学生の希望 や適性を見極めながら、自分にあった進路を選択でき るよう支援します。



キャリアコンサルタントと 就職担当教員がバックアップ

専任のキャリアコンサルタントが、学生の進路相談のほ か、就職ガイダンスや面接練習会などの各種プログラムを 企画・実施しています。また、公務員志望者向けに、公務 員講座や現役公務員との座談会なども開催しています。

さらに、本学では各学科に就職担当教員を配置。 個別 面談を積極的に行い、学生の進路希望や就職活動状況を 担当教員とセンターが共有し、個別の指導や対応につな げます。

キャリアデザインを促す カリキュラム設定

1年次の共通科目「キャリアデザイン・チーム論」では、 グループワークを通じて大学での学びを自分の将来と結 び付けて考えるとともに、職業意識を醸成し、自身のキャ リアを描き始めます。

3年次に生産システム科学科は「学外技術体験実習」、 国際文化交流学科は「インターンシップ」の授業で、それ ぞれ約1週間、企業等での実習を行っています。受入先は、 ものづくり企業や官公庁など多岐に渡ります。実践的な学 びが進路選択の幅を広げます。

3年連続 就職内定率100%達成!

令和4年度から令和6年度まで、3年連続で就職を希望する学生全員が内定を得ることができました。 就職先実績は、各学科のページでご確認ください。

Prouram 年間キャリアデザインプログラム

	9 1 4 11	11-311	77791272	
	1年次	2 年次	〉 3年次	〉 4年次
	キャリア教育		就職活動	
年度目標	自己理解、地域経済 メージを熟成させ、 自ら創造する	fの理解、職業人のイ 充実した大学生活を		日分の未来に自信と覚悟を持ち、 日定を獲得する
前年度実績		ゲインセミナー 理解/仕事理解/目標		
			務員ガイダンス 事内容/試験の動向/勉強方法/職員との交流会	など
			インターンシップガイダンス 学外技術体験実習/インターンシップ(各学科)	
			就職活動ガイダンス 就職活動の進め方/自己分析/企動	、 業研究/ES対策/面接対策/ビジネスメール/就活メイクなど
			就職活動実践: 人事担当者による業界研究	型セミナー 混会/面接対策/グループディスカッション対策/先輩との交流会など
	企業見学バ	ス・若手社員と		学、MEX金沢、e-messe kanazawaバスツアーなど
	個別キャリフ	アカウンセリン	・グ キャリアサポートセンターと担当教員が通	重携しながら、一人ひとりのキャリアを支援

附属図書館



中央、粟津、末広の3キャンパスに設置し、専門領域に 応じた資料を取り揃えて学修を支援するほか、研究・学習 に必要な文献や資料検索、調査などの相談にも対応してい ます。他大学図書館との相互協力と連携により、図書の取 り寄せや文献複写サービスも行っています。

また、中央キャンパスは、図書館横に 独立した自習室を設け、学生は夜間や土 曜日の利用も可能です。



国際交流センター



国際的に活躍できる人材の育成とともに、海外の協定 校等との教育・研究の交流を促進し、地域の国際化推進 の一翼を担います。交換留学の派遣や受入、留学に関す る情報提供などのサポートなどを行っています。また、国 際理解を深めるためのプログラムとして、英語や中国語 での会話を楽しみながら異文化交流を深める「英語力 フェ」や「中国語カフェ」を定期的に開催しています。

※交換留学や海外協定校については、P43「国際交流」を参照ください。

地域連携推進センター

保健管理センター



中央、粟津、末広の3キャンパスに保健師または看護 師が常駐し、軽いけがの応急手当や一時的な休養のほか に、定期健康診断や健康相談、健康指導などを実施して います。

また、臨床心理士・公認心理師へ悩みや問題を相談で きる「学生相談(予約制)」を定期的に開催し、学生が心 身ともに健康な生活を送ることができるようサポートして います。学生相談は、学生だけでなく学生のご家族も利用 できます。また、必要に応じて学校医に相談することもで きます。

企業等との受託研究・共同研究に向けた大学の研究 シーズの発信やニーズとのマッチング、行政と連携した地 域課題の解決など、産官学連携活動を展開しています。 新事業の開発や人材育成、技術相談などのご相談には、 産官学連携担当特任教授が対応し、研究開発プロジェク

トの実施を支援します。

また、公開講座「こまつ市民大学」や社会人教育プロ グラム 「ものづくり人材スキルアッププログラム※」 など を開講し、広く学び直しの支援を行っています。

※総合コースは、文部科学省職業実践力育成プログラム (BP) に認定され

次世代考古学研究センター



マヤ文明世界遺産研究部門と小松の石文化研究部門 から構成されており、国内外の文化資源に関する次世代 型の研究拠点の形成を目的としています。

特に、革新的な医系、理系の研究や科学技術を、マヤ 文明を代表する世界遺産遺跡の考古学調査や小松の石 文化研究と融合させて教育研究を行うことで、他の大 学・研究機関にない特色のある研究センターとして、公立 小松大学の大学憲章に謳われている知の習得、創造、循 環、還元を目指します。

初年度学納金等

学部		生産システム科学部	保健医療学部	国際文化交流学部 ※4
入学料 ※1	市内者 ※2	282,000円	282,000円	282,000円
	その他	423,000円	423,000円	423,000円
授業料	[年間]	585,800円	585,800円	585,800円
実習費 ※3	[年間] (教育実習費として)	50,000円	50,000円	
初年度	市内者	917,800円	917,800円	867,800円
合計額	その他	1,058,800円	1,058,800円	1,008,800円
大学院		生産システム科学専攻	ヘルスケアシステム科学専攻	グローカル文化学専攻※4
入学料 ※1	市内者 ※2	282,000円	282,000円	282,000円
	その他	423,000円	423,000円	423,000円
144 AK WA	F / - BB3	FOE 000FF		EOE 000E
授業料	[年間]	585,800円	585,800円	585,800円
	市内者	867,800円	867,800円	867,800円

学部生は上記のほか、保護者会費20,000円と同窓会費10,000円が必要となります。

- ※1 納入した入学料は返還いたしません。
- ※2「市内者」とは、入学者本人又は保護者が、入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者を指します。 ※保護者とは、父母又は主たる生計維持者。
- ※3 実習費には施設管理費等が含まれています。実習衣、教科書代等は含まれていません。
- ※4「海外語学研修」、「異文化体験実習」を履修する場合は、参加にかかる費用が別途必要になります。
- ※ 入学料・授業料等の減免制度があります。

奨学金

奨学金には、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金があります。いずれの場合も、奨学生 となるには、主に学業成績が優秀で、経済的理由により学資支弁の困難な学生が対象となり、選考の上、決定されます。

① 日本学生支援機構

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また経済・社会情 勢などを踏まえ、学生が安心して学べるよう、「給付」または「貸与」 する制度です。 給付奨学金の支援額については、国の政策「高等教育の修学支援新制度」に基 づき定められています。(本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。)

日本学生支援機構ホームページURL <https://www.jasso.go.jp/>

②地方公共団体 及び 民間奨学団体

募集案内などは、学内掲示などでお知らせします。

学生寮 [粟津キャンパス内]

入寮には、入寮希望の提出が必要です。新入生の入寮については3月上旬に募集し、希望者 多数の場合は3月中旬に抽選します(入寮の状況によっては募集をしない場合もあります)。 その他詳細は、粟津キャンパス学生課〈TEL 0761-41-6700〉 へお問い合わせください。



構造	鉄筋コンクリート4階建て 1人部屋(居室面積 約21.8㎡)
設備	エアコン、冷蔵庫、キッチン(IH)、3点ユニットバス、ベッド、机、椅子、本棚、クローゼット、LANコンセント
対象·室数	本学学生 及び 交換留学生 全40室
入居費	寮費 月額 20,000円 / 共益費 月額 10,000円 (光熱水費含む。) / 駐車場使用料 月額 3,000円 (許可者のみ
共用施設	洗濯室、談話スペース

公立小松大学の3つのキャンパスの特色や魅力を紹介します。

中央キャンパス

「全学部·国際文化交流学部^一

共通科目と国際文化交流学部の講義を行う中央キャンパスは、小松 駅から徒歩1分に位置し、立地の良さが魅力です。2024年には北陸新 幹線金沢~敦賀間が開通し、さらなる賑わいと交流人口拡大が期待さ れます。

駅前の複合ビル「こまつアズスクエア」内の2・3階がキャンパスとな り、キャンパス内には専門図書等を所蔵する図書館や、英語に親しみな がら異文化理解を深める場として利用する「英語カフェ」などがありま す。ほかにも、開放的なオープンスペース「学生交流ホール」は、ランチ や自習、休憩スペースとしていつも学生で賑わっています。

また、学生にキャンパスから飛び出して地域で過ごしてほしいという思 いから、中央キャンパスをメインキャンパスとする学年・学科には、授業 がある月に2.000円分のランチ助成券を配布しています。学生は助成券 を活用し、まちなかのいろいろな飲食店で昼食をとることができます。



図書館



末広キャンパス

保健医療学部

保健医療学部のメインキャンパスとなる末広キャンパスは、南加賀地 域の広域医療の拠点である小松市民病院に隣接し、保健医療学部の学 生・教員が医療現場の間近で学び、研究に従事できる好立地です。周辺 には、ウォーキンググコースとしても人気のある緑豊かな末広緑地のほ か、陸上競技場やテニスコート、プールなどを備える小松運動公園があ り、授業の合間や放課後の時間に気軽にリフレッシュできる環境も充実

また、末広キャンパスで学生や教職員の憩いの場となっているのが、 食堂「健幸Kitchen すえひろ」です。管理栄養士監修の日替わりランチ やスマートミールプレート、サラダ、単品小鉢、麺類、カレーなど、種類 豊富で栄養バランスのとれたメニューが展開されています。食堂隣のカ フェテラスでは、末広緑地公園の木々や田んぼの風景、時には小松空港 に発着する航空機の姿も眺めることができます。



開放的な空間の食堂

研究実験棟 (2023年新設)





粟津キャンパス

生産システム科学部]

粟津キャンパスは生産システム科学部の2年次から通うキャンパス で、南加賀地域のものづくり集積地の中心に位置します。日本を代表す る企業を初めとしたものづくり企業と隣接する場で専門教育を学ぶとい

キャンパス内は、切削加工実験・実習室、製図室など生産システムに 関わる設備が充実し、体育館や大講義室などはサークル活動の場として 利用されています。エントランスに入ってすぐ横には食堂があり、リーズ ナブルでボリューム満点のメニューが揃います。

また、2022年に大学院棟を増設。1階は電子顕微鏡や実験装置のあ る実験室、2階には研究室を配備したほか、各種大型の実験装置も導入 しました。新たな学び舎で、専門性の高い研究を行うことができる環境 が整っています。



大学院棟(2022年新設)



キャンパスの中をのぞいてみよう

3つのキャンパスの中を360度カメラの画像で公開しています。 スマートフォンやパソコンの画面上で、実際にキャンパス内を歩 いているような気分を味わってみてください。





48

ンパス概要

 \Box

ച

3

7

S

<

æ

æ

€

小松市紹介

小松市は、石川県西南部に広がる 豊かな加賀平野の中央に位置します。 産業都市として発展し、南加賀の中核を担っています。

• 金沢 小松

充実した交通ネットワーク

小松市には北陸の空の玄関口である小松空港と、新幹線と普通電車が停車する小松駅、また、高速道路が揃っています。 充実した交通ネットワークが小松の魅力の一つです。

豊かな自然・環境

北西部に日本海、東には霊峰・白山を 望み、豊かな自然と美しい景観に恵まれ ています。木場潟から望む霊峰白山の眺 望は県内随一と言われています。また、開 湯1300年を迎えたあわづ温泉は、癒し の湯として広く親しまれています。



ものづくりのまち

小松市は、前田利常公の殖産興業 政策によって「ものづくり」をなり わいとして発展してきた歴史があり ます。現在では、世界的な建設機械 メーカーのほか多様な企業が立地し ています。



息づく伝統と歴史

歌舞伎十八番の内「勧進帳」の舞 台となった「安宅の関」があり、ま た、江戸時代から続くお旅まつりで は、「曳山子供歌舞伎」が繰り広げら れることから、小松は「歌舞伎のま ち」として知られています。



キャンパス周辺施設 まちなかには、学生の学びや憩いのための施設がキャンパス以外にも多数あります。

町家ハウス Doihara

中央キャンパスから 徒歩1分、かつて歯科 医院だった建物を改修 した施設です。WiーFi 完備。開館時間中、学 生は自由に出入り可能 です。



町家ハウス Ryusuke

老舗の茶舗や町家力 フェ、雑貨店などが並 ぶ龍助町の一角に建つ 3階建ての施設です。 キッチンやホールがあ り、多彩な使い方が可 能です。



小松市ビジネス創造プラザ

サイエンスヒルズこ で、教員・大学院生の 研究室、国際文化交流 学部の演習室などが 入っています。



小松市團十郎芸術劇場うらら

中央キャンパスから 徒歩3分に位置し、入学 宣誓式や学位記授与式 のほか、各種講演や講 義で利用しています。



Campus Map

[全学部·国際文化交流学部]

[保健医療学部]

[生産システム科学部]







中央キャンパス 〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10 粟津キャンパス 〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

末広キャンパス 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1 TEL 0761-41-6800

TEL 0761-41-6700

TEL 0761-23-6600 HP https://www.komatsu-u.ac.jp/

